



学校法人兵庫医科大学

広報 第190号 平成 19 年 11 月

建学の精神 ・ 社会の福祉への奉仕 ・ 人間への深い愛 ・ 人間への幅の広い科学的理解



兵庫医療大学 松田 暉 学長



兵庫医療大学 オープンキャンパス



兵庫医科大学
村田 宏雄 入試センター長

兵庫医科大学 キャンパス見学会



目次

NEWS

クロアチア共和国Rijeka大学医学部との学術協定の締結について	1
文部科学省「がんプロフェッショナル養成プラン」に採択	1
組織変更（平成19年8月1日付）	2
平成19年度科学研究費補助金交付決定	3
平成19年度厚生労働科学研究費補助金交付決定	6
財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況	6
兵庫医療大学早期臨床体験実習（兵庫医科大学と連携）	6
1号館受水槽整備事業	7
7：1看護体制の実施について	7

TOPICS

兵庫医科大学	8
兵庫医科大学病院	14
兵庫医療大学	17
看護専門学校	19
法人	19
主要会議とその議題	31

お知らせ

新大学のための募金の状況報告	34
----------------	----

クロアチア共和国Rijeka大学医学部との学術協定の締結について

今回、本学はクロアチア共和国にあるRijeka大学医学部と学術協定を締結することとなりました。

Rijeka大学の歴史は古くオーストリア帝国時代の1627年を起源とし、現在10の学部を持ち学生数は16450名余りの総合大学です。医学部は比較的新しく1955年に設置され、6年制の医学科と5年制の歯学科と4年制の衛生工学科があり大学院と修士課程が併設されております。

本学とは産科婦人科学講座香山教授が国際生殖免疫学会を通じて、Daniel Rukavina総長が医学部長として在職中から学術的な交流をされており、第9回国際生殖免

疫学会（2004年）が箱根で開催された際にRukavina先生は兵庫医科大学に立寄られ大学院特別講義をされました。その時、新家理事長と波田学長を表敬訪問され両大学での学術交流が話題となりました。特に最近では先端医学研究所岡村教授が発見されたIL-18に関する研究を行うために人的交流のみならず試料の提供や学術情報の相互提供が行われており、今後も継続して学術交流を行おうとの双方の合意があり、今回学術協定を締結する運びとなりました。将来は学生の交流も含めた全学的な規模に発展することが期待されております。



左より本学産科婦人科学講座香山教授夫妻、波田学長夫妻、Rijeka大学Rukavina総長、Kapovic医学部長、Badovinac副医学部長、Barac-Latas副医学部長



FACULTY OF MEDICINE(Rijeka大学案内より)

(学務課)

文部科学省「がんプロフェッショナル養成プラン」に採択

文部科学省第3次対がん10ヵ年総合戦略の一環として実施される「がんプロフェッショナル養成プラン」に採択されました。これは、文部科学省が、優れたがんの専門家を養成するための横断的な教育プログラムの構築と実施を目的とし、「がん医療のプロフェッショナル養成プラン」を全国公募したもので、兵庫医科大学は、近畿大学、大阪市立大学、神戸大学、大阪府立大学、神戸市看護大学と共同申請し、採択されました。そのタイトルは、「6大学連携オンコロジーチーム養成プラン『近畿

内科学 呼吸器・RCU科教授／がんセンター長 中野孝司

圏のがん医療水準の向上と均てん化を目指した国公立大連携プロジェクト』です。

がんは、わが国の死亡原因の第一位で、国民の3人に1人ががんで亡くなっています。しかし、がんを的確に診断し、根拠に基づいた最先端の治療を施すことのできる専門医はまだまだ少ないのが現状で、優秀ながん医療の専門家の養成が強く望まれています。このような状況に対して、がん専門医療従事者の育成に関わる教育環境を整備・実行する今回のがんプロフェッショナル養成プランは、極めて重要な課題といえます。

本学が共同申請したプランの骨子は、近畿圏の6大学が、がん医療専門の医師・コメディカルチームを共同して養成するもので、共通の教育プログラムを設定しています。放射線治療専門医、がん薬物療法専門医、がん看護専門看護師、がん専門薬剤師、医学物理士の養成コースとインテンシブコースを設け、大学病院と近畿4府県のがん診療連携拠点病院、国立がんセンター東病院との連携の下に、高度ながん医療を実施しえ



6大学連携オンコロジーチーム養成プラン調印式

る人材養成教育プログラムです。このプログラムは5年間の予定で行われますが、高度な技術を持つがん専門医療人が育成され、近畿全体のがん医療水準の向上と均てん化が得られます。

本学は、大学院医学研究科にがん薬物療法専門医養成コース、放射線治療専門医コース、医学物理士養成コースを設置し、学位の取得と同時にがん治療の技術と専門医資格の取得を可能とします。また、インテンシブコースにはがん薬物療法医研修コース、がん疼痛制御インテンシブコース、皮膚悪性腫瘍診療研修コース、放射線治療インテンシブコース、肝胆膵癌診療研修コース、消化器癌診療研修コース、頭頸部癌診療研修コース、血液腫瘍インテンシブコース、転移性骨腫瘍インテンシブコース、腫瘍外科学研修コースの豊富なコース設定が特長で、全学を挙げてがん診療に取り組む体制が整います。



6 大学連携オンコロジーチーム養成プランプレスセミナー

本学は本年7月に「がんセンター」を設置しました。今回の「がんプロフェッショナル養成プラン」の採択を機に、がん診療のプロフェッショナル育成の教育環境を充実させ、さらなるがん対策の推進と高品質のがん診療を患者さんに提供いたします。

平成19年 8 月 1 日付 組織変更

近年、教育制度、医療制度等の変革が急速に進み、質の高い卒前・卒後教育の実施、特定機能病院として急性期で高度な医療の開発と実施、臨床研究等がより一層強く求められています。これを受けて、本法人としては兵庫医科大学も含めて1法人2大学体制の下、計画的、継続的にこれらの事業を行うため法人の財政基盤をより強固なものにしていかなければなりません。今回、中期事業計画の中で具体的施策として掲げた経営企画室の設置、広報体制の充実並びに、研究分野での特許等の知的財産管理の体制整備を目的として、平成19年8月1日付で「経営企画室」、「広報室」及び「知的財産統括室」を設置する組織改正（右図）を実施しました。

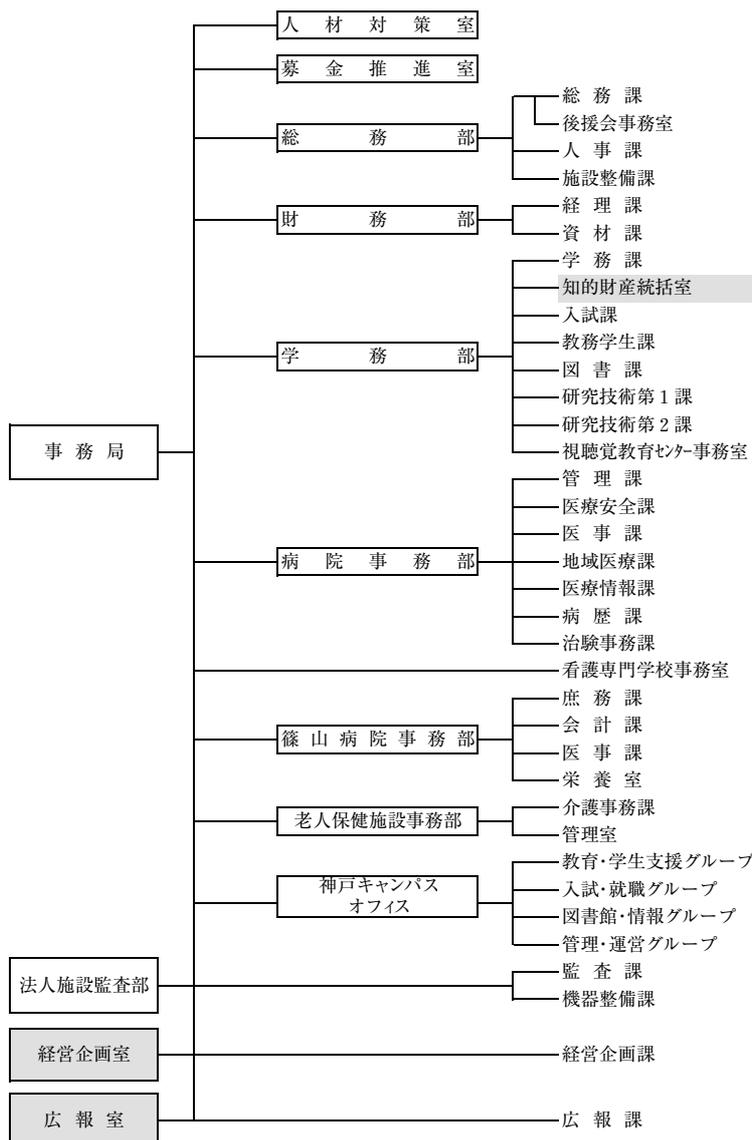
(経営企画室)

経営計画立案と進捗管理、迅速な経営意思決定に向けた情報収集・分析等を行う経営サポート体制の専門組織として設置する。

- (1) 法人の事業計画及び将来計画策定
- (2) 法人経営に必要な情報の収集・分析
- (3) 法人の経営計画策定
- (4) 法人の経営改善計画の進捗、管理

(広報室)

本法人の事業活動の円滑化や社会との関



係維持・改善のために、外部・内部の関係先との間で双方向のコミュニケーション活動を行う。

- (1)学校法人広報の方針案、広報戦略案、広報計画書の立案
- (2)情報収集の仕組みと運用
- (3)良好なメディア・リレーションの構築
- (4)情報発信ツールの整備
- (5)広報活動における危機管理

(知的財産統括室) 本法人で実施された研究成果等を社会に還元することにより、社会の発展に貢献するとの使命の下、知的財産の創造、保護、管理及び活用を組織的に適切に進める。

- (1)特許等の出願、権利化、維持
- (2)知的財産に関する教育及び啓発活動の企画・立案・実施
- (3)知的財産の情報収集及び広報
- (4)知的財産の活用

平成19年度科学研究費補助金交付決定

平成19年度科学研究費補助金(97件 総額287,340千円(うち直接経費240,510千円、間接経費46,830千円))の交付が下記のとおり決定しました。なお、昨年度は88件 総額221,760千円(うち直接経費210,000千円、間接経費11,760千円)でした。(単位:千円)

所 属	研究代表者	研 究 課 題 名	交付決定額	
			直接経費	間接経費
基盤研究 (B)				
免疫学・医動物学	中西 憲 司	LPS受容体で誘導される好塩基球依存性多クローン性IgE酸性誘導機構の解析	2,700	810
リハビリテーション医学	道 免 和 久	リハビリロボットを併用した脳卒中片麻痺上肢のハイブリッドCI療法	4,600	1,380
先端研(生体防御部門)	関 山 敦 生	ストレス反応におけるサイトカイン～ストレスホルモンとしての分子基盤の確立	6,000	1,800
呼吸器外科学	長谷川 誠 紀	胸膜中皮腫の発生および進展形式とその生物学的特性の解析	5,700	1,710
呼吸器外科学	田 中 文 啓	高感度遺伝子変異検出システムの確立と肺癌の診断への応用	6,400	1,920
産科婦人科学	香 山 浩 二	卵巣組織の凍結保存と卵母細胞の培養系での成熟・受精・胚発生に関する研究	3,700	1,110
歯科口腔外科学	浦 出 雅 裕	ケモカインシグナルを介した口腔癌転移機構の解析と転移抑制の分子標的治療	3,500	1,050
解剖学第2	野 口 光 一	神経障害性疼痛発症のメカニズム	6,100	1,830
免疫学・医動物学	善 本 知 広	新規サイトカイン(IL-27, IL-33)による寄生虫感染防御機構の解析	7,900	2,370
外科学	藤 元 治 朗	消化管癒着・線維形成過程の分子機構解析・制御法開発と腸管星細胞の探索の試み	6,100	1,830
外科学	嶋 田 裕	食道癌細胞および正常食道上皮細胞における機能性リボ核酸の発現と機能解析	7,600	2,280
先端研(細胞遺伝子治療部門)	後 藤 章 暢	制限増殖型ウイルス治療におけるPETを用いた新規評価法の開発	7,900	2,370
基盤研究 (C)				
放射線医学	廣 田 省 三	経カテーテル門脈血流改変による肝硬変治療の研究	900	270
遺伝学	辻 芳 之	マイコプラズマ属の潜在感染による胎児拒絶型妊娠合併症発症の分子機構の解明	900	270
解剖学第2	山 中 博 樹	細胞間接着因子L1-CAMの翻訳後調節と神経因性疼痛における役割	1,400	420
内科学(循環器内科)	中 尾 伸 二	超音波心筋局所運動解析・組織性診断装置を用いた心臓再同期療法適応決定技法の開発	500	150
生化学	鈴 木 敬 一 郎	活性酸素が引き起こす糖鎖改変によるプロテオグリカン機能変化-癌及び関節炎への関与	1,300	390
内科学(上部消化管科)	三 輪 洋 人	胸やけ誘発時の食道筋層収縮リアルタイム解析による症状発生メカニズムの解明	900	270
内科学(糖尿病科)	宮 川 潤 一 郎	新規増殖因子NTAKによる膵B細胞の分化・増殖作用の解明と再生医学的研究	700	210
内科学(血液内科)	小 川 啓 恭	ヒト白血球抗原半合致移植片を利用した、難治性白血病に対する新しい移植療法の開発	1,700	510
皮膚科学	樽 谷 勝 仁	MAPKシグナル伝達系を用いた乾癬の病態モデルの作成と新たな治療法の開発	1,300	390
皮膚科学	山 西 清 文	表皮細胞系列維持に関わるマイクロRNAの同定	1,700	510
外科学	宇 山 直 樹	星細胞中間系フィラメント制御による肝繊維化抑制、肝癌治療の研究	1,600	480

基盤研究 (C)				
呼吸器外科学	松本成司	胸膜悪性中皮腫モデルに対する新規抗癌剤 (アリムタ) 胸腔内反復投与の効果検討	800	240
整形外科	越谷博之	骨肉腫の肺転移抑制に対するサイトカイン療法の確立	1,500	450
整形外科	八木正義	フジイ3次元画像認識による膝前十字靭帯損傷膝の動的安定性評価方法の構築	500	150
麻酔科学	上農喜朗	麻酔の多経路多単位モデルを用いた麻酔関連薬物の相互作用の解析と臨床応用	1,500	450
泌尿器科学	山本新吾	尿管再生をめざした新規生体吸収性合成材料の開発	1,600	480
産科婦人科学	小森慎二	精子形成過程におけるTCTPの機能解析とアンドロゲンによる発現調節機構の検討	1,300	390
病理学第1	大山秀樹	抗菌ペプチド産生を誘導するIL-22に着目した歯周病態の解析と新規治療創薬の開発	1,700	510
解剖学第2	戴毅	プロテアーゼ受容体PAR-2によるTRPA1チャンネルの機能調節メカニズム	1,600	480
生化学	藤原範子	新規酸化SOD1特異抗体を用いたALS発症機構の解明	1,200	360
生理学第2	山本悟史	神経因性疼痛発現における新規イオンチャンネルの解析	1,900	570
超音波センター	飯島尋子	非アルコール性脂肪性肝炎における非侵襲的、定量的機能診断法の確立	2,800	840
整形外科	吉矢晋一	膝関節3次元動作解析システムの確立と前十字靭帯損傷膝に対する応用	2,400	720
生理学第2	西崎知之	AMPA受容体traffickingにおけるO-GlcNAc化の分子制御機構	1,800	540
生理学第2	山本英幸	PDGFd関連因子を標的とした悪性中皮腫診断および治療法確立への試み	1,800	540
病院病理学	廣田誠一	消化管間質腫瘍の分子標的薬に対する耐性機序の解明	1,400	420
病院病理学	磯崎耕次	KIT遺伝子改変動物を用いた消化管運動ペースメーカー細胞に発現する分子の解析	1,000	300
免疫学・医動物学	松本真琴	気管支喘息におけるインターロイキン33の役割についての研究	2,200	660
遺伝学	吉川麗月	癌分化誘導療法におけるhedgehog情報伝達系の解明 - 消化器癌を中心に	2,100	630
生化学	大河原知水	EC-SODの抗酸化作用と生活習慣病の動脈硬化予防	1,800	540
環境予防医学	若林一郎	女性における動脈硬化性疾患予防の観点から見た適正飲酒に関する研究	2,300	690
内科学(上部消化管科)	田中淳二	シグナル伝達分子を用いた内臓知覚伝達経路の解明	2,000	600
内科学(肝・胆・膵科)	中村秀次	肺癌由来増殖因子と受容体の発現・活性化調節による肝癌増殖の制御	2,000	600
内科学(神経・脳卒中科)	芳川浩男	筋強直性ジストロフィー症におけるリアノジン受容体機能、脳スプライシング異常の解析	2,900	870
内科学(リウマチ・膠原病科)	佐野統	スフィンゴシン1-リン酸受容体制御による関節リウマチ治療	2,200	660
精神科神経科学	植木昭紀	プレバルスインヒビジョンを利用した健忘型軽度認知障害の診断法の開発	2,500	750
外科学	飯干泰彦	アミノ酸の惹起する細胞内シグナル伝達の基礎研究と腸管蠕動不全治療の研究アプローチ	1,800	540
外科学	王孔志	おとり型核酸と肝細胞増殖因子を用いた放射線腸炎に対する治療効果の検討	2,100	630
外科学	藤原由規	進行食道癌化学放射線療法感受性に対する予後規定因子の検索およびその臨床応用	2,200	660
外科学	平野公通	切除不能高度進行肝細胞癌に対する化学療法併用腫瘍新生血管抑制治療法の開発の検討	1,800	540
外科学	飯室勇二	メカニカルストレス応答からみた肝再生・肝線維化の病態解析と肝臓器再生への応用	1,800	540
呼吸器外科学	多久和輝尚	遺伝子変異を指標とした肺癌の高感度播種およびリンパ節転移検知システムの構築	2,000	600
脳神経外科学	有田憲生	脳および神経幹細胞におけるTLR分子の発現解析	1,500	450
麻酔科学	下出典子	揮発性麻酔薬のヒト胎盤移行性と他剤の移行性への影響	1,400	420
形成外科学	西本聡	慢性虚血肢潰瘍に対する末梢血および骨髄由来多血小板血漿の治療効果	2,800	840
救命救急センター	小谷穰治	侵襲下骨髄細胞アポトーシス誘導と免疫抑制におけるTIRファミリーレセプターの役割	2,400	720
解剖学第2	徳永敦	顎関節痛の末梢感作におけるMAPキナーゼファミリーの役割	2,000	600
歯科口腔外科学	野口一馬	正常唾液腺培養細胞の維持と放射線照射唾液腺への移植による唾液腺再生の試み	1,400	420
歯科口腔外科学	橋谷進	ヌードマウス可移植株高転移ヒト腺様嚢胞癌の転移機構の解析と転移抑制の検討	1,700	510
病理学第1	中正恵二	歯周炎が脂肪性肝炎の発症と進行に及ぼす負の影響に関する研究	1,300	390
解剖学第2	福岡哲男	神経因性疼痛モデルにおける電位依存性チャンネルの発現変化と病態への関与	2,000	600
篠山病院	清野大輔	脊髄根損傷モデルラットの脊髄における細胞外プロテアーゼtPAの役割	2,000	600

萌芽研究				
先端研(神経再生研究部門)	松山知弘	成体神経幹細胞産生に関わる免疫調節因子の同定	1,500	0
外科学	藤元治朗	リンパ濾胞破壊組織骨格への肝幹細胞・サイトカイン産生細胞移植による異所性肝作製	1,600	0
生理学第2	藤川浩一	Ets2を標的遺伝子とした脳腫瘍浸潤抑制法の確立	1,900	0
解剖学第2	小畑浩一	神経栄養因子の発現制御による坐骨神経痛モデルの治療の試み	1,300	0
内科学(下部消化管科)	福永健	熱ショック蛋白質の積極的誘導による新しい末梢免疫調節治療の基礎的検討	1,400	0
解剖学第2	野口光一	神経根性疼痛における細胞外プロテアーゼtPAの関与	1,800	0
救命救急センター	寺嶋真理子	侵襲下腸粘膜細胞アポトーシス誘導におけるTIRファミリーレセプターの役割の研究	2,700	0
若手研究 (スタートアップ)				
先端研(神経再生研究部門)	中込隆之	脳傷害誘導性神経幹細胞の確立	1,350	0
皮膚科学	中川登	ナノスケールのin vivo角層細胞間脂質分子構造解析	1,320	0
眼科学	石川裕人	視神経挫滅モデルへの脳脊髄液経由骨髄間質細胞由来シユワン細胞移植	1,300	0
生理学第2	矢口貴博	アデノシン誘導アポトーシスにおける細胞内情報伝達経路の同定、治療法確立への試み	1,320	0
形成外科学	横山茂和	放射線難治性潰瘍に対する脂肪組織由来幹細胞の効果	1,320	0
特定領域研究				
病院病理学	廣田誠一	GIST発生におけるKIT・PDGFRシグナル異常の解析	9,400	0
解剖学第2	野口光一	神経因性疼痛における細胞間接着因子L1-CAMの役割	3,900	0
免疫学・医動物学	中西憲司	寄生虫感染と宿主応答	18,200	0
解剖学第2	野口光一	マルチモーダルセンサーTRPA1の機能調節機構	3,100	0
若手研究 (B)				
病理学第1	山田直子	IL-18により誘導される血清中の転移抑制因子の解析	1,000	0
病理学第2	佐藤鮎子	肝再生医療に向けたES細胞から肝細胞への分化機構の解明	1,300	0
法医学	内海美紀	覚せい剤誘導性ドパミン増加に対するエタノールの作用とアルコール嗜好性の関与	1,500	0
歯科口腔外科学	田中徳昭	腺様嚢胞癌由来培養細胞株を用いた腺様嚢胞癌の浸潤機構に関する研究	1,800	0
医療情報部	平松治彦	インシデントレポートの共有と流通に関する研究	2,300	0
解剖学第2	小林希実子	末梢神経損傷後の脊髄グリアで発現変化するプリン受容体の役割	1,800	0
生理学第2	菅野武史	後根神経節におけるノルアドレナリン刺激ATP放出機構の解明	1,000	0
生理学第1	平田豊	中枢化学受容器機構の解明	3,100	0
内科学(下部消化管科)	大島忠之	細胞間接合装置機能からみた食道粘膜防御機構と新たな病態分類に関する研究	2,200	0
内科学(冠疾患科)	藤井健一	冠動脈不安定粥腫に対するアトロバスタチンの粥腫安定化効果の検討	1,700	0
生理学第1	増宮晴子	心房細動治療の新展開: Agingに伴うコネキシンの変化が興奮伝播異常を惹き起こす	1,600	0
内科学(リウマチ・膠原病科)	北野将康	破骨細胞の分化誘導と活性化におけるS1P/S1P1シグナルの役割	1,600	0
生理学第1	岡部明仁	乳幼児突然死症候群の原因究明に向けて: KCC2の発達期発現異常と呼吸リズムの失調	2,000	0
耳鼻咽喉科学	都築建三	アレルギー性鼻炎、および慢性副鼻腔炎における神経ペプチドの発現に関する研究	2,000	0
形成外科学	河合建一郎	アディポサイトカイン、ミオカインの糖尿病性創傷治癒遅延への影響	2,700	0
形成外科学	福田健児	創傷治癒における適正湿度の検索	1,700	0
病理学第1	山根木康嗣	IL-18を用いたヒト骨肉種に対するサイトカイン療法の有効性向上に関する研究	1,700	0

平成19年度厚生労働科学研究費補助金交付決定

(単位：千円)

研究事業名	研究課題名	主任研究者	交付額
循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業	慢性心不全基本治療薬である利尿薬のクラス内予後改善効果の差異に関する研究	増山 理 (内科学(循環器内科))	13,000
循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業	自動体外式除細動器(AED)を用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究	丸川征四郎 (救急・災害医学)	40,200
創薬基盤推進研究事業	食道癌生検標本の遺伝子発現プロファイル解析による放射線化学療法感受性予測の臨床導入を目指した基盤的研究	嶋田 裕 (外科学)	22,790
がん臨床研究事業	進行胃がんの生存率を向上させる標準的治療法の開発に関する研究	笹子三津留	25,600
がん研究助成金	ヘリコバクター・ピロリ感染による胃発癌機序の解明と感染・再感染予防の研究	福田 能啓 (臨床栄養部)	11,500

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位：千円)

助成団体等	研究課題名	研究者	交付金額
(財)大阪難病研究財団	クローン病における発癌に関する研究	富田 尚裕 (外科学)	1,000
公益信託外科学研究助成基金	メカニカルストレス応答を軸とした肝再生・肝線維化の病態解析と肝臓器再生への応用	飯室 勇二 (外科学)	500

兵庫医療大学 早期臨床体験実習 (兵庫医科大学病院と連携)

兵庫医療大学共通教育センター 垣下榮三、末廣 謙

兵庫医療大学の早期臨床体験実習(ECE)は薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の全学生を対象として平成19年7月31日～8月3日の4日間、兵庫医科大学関係各位のご協力の下兵庫医科大学病院において実施されました。

この企画は早期に医療の実際に直接触れ医療者としての自覚を培い、勉学のモチベーションを高めることを目標と致しておりますが、本大学の特徴としては、3学部学生が混合グループを編成し合同で実施された点があげられます。本学における教育のキーワードは現代医療の中心でもある「チーム医療」で、すぐれた医療者を育成するためにボーダーレスな教育の実施を目指していますが、このECEはまさにこの実践であったと思います。

実習は病棟実習と病院施設見学を各1日ずつとし、学生375名を80グループに分け4日間で行いました。

各学生自身にはよい成果があったものと確信しており

ます。ご協力を頂きました兵庫医科大学看護部、薬剤部、リハビリテーション部その他関係部署の各位にはご多忙にも係わらず多大なご尽力を賜りました。おかげさまで無事終了することができましたことを改めてお礼申し上げます。



1 号館受水槽整備事業

本学 8 号館北側の敷地に新規に受水槽を設置します。これにより災害拠点病院として災害時 3 日間（72 時間）の給水が可能になります。この事業は工事費の 35% が補助対象であり、整備期間は平成 19 年 8 月末から平成 20 年 2 月末です。
(施設整備課)



8 月 23 日 安全祈願祭



完成イメージ

7 : 1 看護体制の実施について

昨年の診療報酬改定は、近年の厳しい保険財政のなかでマイナス改定（▲3.16%）となりましたが、一方で、急性期医療において手厚い看護による医療の質の向上を図ることを目的に、12 年ぶりに「入院基本料における看護配置基準の引き上げ」が行われ、これまでの最高の看護配置基準であった 10 : 1 入院基本料の上位に 7 : 1 入院基本料が新設されました。

この 7 : 1 入院基本料（7 : 1 看護体制）は、1 日を平均して 1 人あたりの看護師が受け持つ入院患者が 7 人以内となるよう配置するものです。

当院では、本年 8 月 1 日（水）から、一般病棟で 7 : 1 看護体制を実施しており、この手厚い看護体制により、これまで以上に患者個々の特性に配慮したより質の高い看護ケアと安心・安全な医療の提供に努めています。

(病院事務部 管理課)

WE SET SWEET

心地よい療養環境、Care の提供をめざします。

SWEET とは Sincerity 誠実(な行動)、Warm あたたかい(対応)、
Evidence 根拠のある(実践)、Ethics 倫理(的感性)、
Technique(確かな)技術の頭文字です。

高度化・複雑化する医療現場の中で、患者さんおよび家族の方に信頼される知識・技術・人間性の向上をめざします。

看護師紹介にご協力をお願いいたします。

問い合わせ先 人材対策室：大滝・渡部
TEL 0798-45-6543
FAX 0798-48-6261
E mail jinzai@hyo-med.ac.jp



・兵庫医科大学TOPICS・

国際学術交流シンポジウム開催

本学の姉妹校である天津医科大学より3名（郭、楊、潘）の先生方をお招きし、国際学術交流シンポジウムを9月26日に開催しました。

シンポジウムは佐野 統教授（内科学リウマチ・膠原病科）の司会で進められ、理事長、学長の挨拶に引き続き、Basic Research及びClinical Researchの2セッションに、それぞれ中西憲司教授（免疫学・医動物学）、笹子三津留特命教授を座長に行われました。今回はすべて英語にて行われ、約100名の出席者からの質疑応答も活発に行われました。

(学務課)



天津医科大学前列より郭教授、後列左より楊教授、潘副主任医師



地域医療学の紹介

地域医療学 特任教授 吉永和正



このたび、兵庫医科大学地域医療学の特任教授に就任しました吉永和正です。本年3月に新設されたこの講座について説明させていただきます。

兵庫県の寄付講座であり、兵庫医科大学病院の地域連携を担当する部門ではありません。兵庫県からは当初より研究テーマが指定されていますが、それは丹波地域の救急医療改善のための調査研究です。丹波地域とは、ご存じの方も多いと思いますが、丹波市・篠山市で、人口は12万人弱ながら面積は阪神間よりも広い地域です。

奈良県での妊婦搬送問題に代表されるように、わが国の救急搬送には多くの障害が発生しています。受け容れ

病院が救急体制を維持できなくなったためですが、丹波地域もその影響が強く現れています。市外への搬送が増加しており、地元の新聞では医療への不安が繰り返し取り上げられています。この問題の最大の原因は病院の医師不足です。

この地域の救急医療を改善することが研究の目標ですが、現状では医師不足という、現在の医療が抱える問題から考えてゆかねば問題の解決は見えてきません。阪神間から眺めていると全く分からないような、地域の特性、問題もあります。現地でのフィールドワークの中から、改善策を模索してゆきたいと考えていますが、今後の活動には多くの方々の援助を必要としています。ご支援のほどよろしく願い申し上げます。

平成19年度 キャンパス見学会 (平成19年8月3日実施)

1. 実施内容

本学3-3講義室において、村田入試センター長による挨拶及び入試概要説明に引き続き「模擬講義」を行いました。その後は、「スキルスラボ（医学教育シミュレーター展示・体験コーナー）」「キャンパス見学」「在校生との交流コーナー」「平成記念会館見学ツアー」「ビデオコ

ーナー」「学生生活ポスター展示」「個別相談」など興味のあるコーナーに自由に参加していただくフリータイムとしました。

内科学（呼吸器・RCU科）の中野教授による「“がん”について学ぶ」と題した模擬講義では、受験生をはじめ、保護者、職員もが、真剣な眼差しで聴き入る内容で、「も

っと聴きたい」との意見が多数寄せられ、大変好評でした。

「スキルスラボ (医学教育シミュレーター展示・体験コーナー)」では、人体解剖・目の構造などの模型の展示。また、手術ガウンの着用や眼底・耳の診察シミュレーターを使用して医学生の実習を参加者が実際に体験することができ、積極的に取り組む姿に医学への強い思いが感じ取れました。

「キャンパス見学」においては、講義室、図書館、学生情報処理教育室、共同利用研究施設、解剖実習室を見学し、入学後の学生生活をイメージしている様子でした。また、「平成記念会館見学ツアー」では、体育館・ドクターズカーなど、近代設備の整った教育環境に大変満足しているようでした。

参加者からは、「兵庫医科大学への憧れが増しました。是非、入学したいです。」など、うれしい意見が多数寄せられました。

今後も新たな企画を考案し、より多くの方に本学の魅力を感じてもらいたいと思っております。

2. 参加人数

本年度は、114組191名と台風による悪天候にもかかわらず多くの方にご参加いただきました。協力していただいた関係各所の方々に心より御礼申し上げます。



中野教授「がんについて学ぶ」模擬講義



解剖実習室見学

(入試課)

平成19年度 教員対象入試説明会 (平成19年6月29日実施)

1. 実施内容

平成20年度入学試験概要説明及び本学独自の教育制度について理解を深めていただき、優秀な受験生のご推薦を頂くことを目的に、高等学校、予備校の教員を対象とした入試説明会を実施いたしました。

はじめに、野口教務部長から挨拶があり、続いて村田入試センター長から平成20年度の入学試験概要と本学が求める学生像について説明が行われ、質疑応答では、出席者から活発な質問が寄せられました。

その後、鈴木医学教育センター長から医学教育の現状と本学の学習支援体制についての説明が行われ、最後に希望者からの個別相談に応じ情報の交換を行いました。

学務多忙の中、25名の教員の方々にご参加いただき有難うございました。

2. 参加校

高等学校 8校

(私)上宮太子、(私)大谷、(私)京都成章、(私)四條畷学園、(県)城東、(私)滝、(私)柳学園、(私)洛南

予備校 11校

ECC予備校本部、大阪メディカル進学舎、大阪医歯学院、近畿予備校、医歯学部進学予備校メビオ、クラムスクールノヴェ、進学塾ビッグバン、メディカルラボ神戸校、コロビア学院、代々木ゼミナール神戸校、医・歯学部受験専門予備校ロゴス

(入試課)

平成19年度 早期臨床体験実習Ⅰ・Ⅱとエスコート実習

医学教育センター長 鈴木敬一郎

平成19年度第1学年次早期臨床体験実習Ⅰは7月17日～20日に兵庫医科大学病院各病棟で、看護部の協力のもと実施しました。また、早期臨床体験実習Ⅱは9月中旬

から12月初めまで毎週木曜日の午後に学外診療施設ならびに本学病院中央診療部門で実施中です。

エスコート実習は、第1学年次に続く早期臨床体験実

習として第2・第3学年次にも患者さんと接する機会として設けました。病いを患った人の気持ちを学び、外来受診を体験することが目的です。まず7月に第3学年次が実施し、初診患者さんに承諾を得て学生を紹介し帰られるまで一緒にさせていただきました。患者さんのアン

ケートを拝読しますと、驚くほど優しく好意的で感動しました。学生諸君も大変熱心で前向きに取り組み意義深い実習となりました。ご協力いただきました患者さん、そして病院スタッフに深謝いたします。

参加型臨床実習(クリニカルクラークシップ)の導入

臨床実習統括責任者 小川 啓恭

兵庫医科大学では、第5学年次と第6学年次の一部において臨床実習を実施してきましたが、今年度から、コアの診療科(内科と外科)において、臨床実習の内容を見学型臨床実習から参加型臨床実習(クリニカルクラークシップ)に変更しました。これは、医学教育改革を進める国の方針に従ったものです。従来の実習は、臨床現場の見学が主体でありましたが、参加型臨床実習では、1) 学生は、医療チームの一員として実際の患者さんの診療に従事しながら臨床実習を行い、2) 指導医の指導あるいは監視のもとに許容された一定範囲の医行為を行

い、医学生としての責任も負います。この実習を通じて、将来、医師となるために必要な知識、技能および態度、価値観を身につけることを目的としています。学生は、医療チームの一員として実際の診療に携わることによって、はじめて医学や医療を深く学ぶことができると考えられます。この臨床実習の改革は、成人学習理論に基づいており、OSCEの導入、PBLチュートリアル導入と並んで、医学教育改革の柱として期待されているものです。

第25回 医学教育ミニ・ワークショップ

教務部長 野口光一

第25回医学教育ミニ・ワークショップは、8月4日、5日の2日間、神戸市北区のスペースアルファ神戸にて開催致しました。今年はミニ・ワークショップの原点に立ち戻り、本学教員のFDを目的とした内容とし、本学教員となって3年以内の先生を対象に教養、基礎、臨床から約30名の先生に参加いただきました。

1日目は特別講演として、名郷直樹先生(社団法人地域医療振興協会 地域医療研修センター長)により「エビデンスに基づかないEBMの実践:EBMスタイル抄読会の実際」と「EBM教育の実践」がありました。懇親会を挟んで夜遅くまで、最近の卒業研修状況等について懇談しました。2日目は成瀬先生(本学医学教育センター准教授)が中心となって、「共用試験CBT問題作成ガイダンス」と問題作成及びブラッシュアップ研修が行われ、その後鈴木先生(本学医学教育センター長)に



よる「共用試験CBTと医師国家試験の現状について」、「本学の学習支援について」の講演がありました。

ハードスケジュールで参加者は大変だったと思われるのですが、教育FDとしての本ミニ・ワークショップで学んだことを、教育の実践に活用いただければ幸いです。

平成19年度兵庫医科大学シーズ育成型研究 採択プログラム配分決定

先端医学的ニーズを念頭に、本学を代表する研究プログラムとなり得る医学研究上、インパクトの大きい目標を設定し、学内の研究者が結集して相互の研究ポテンシャルを有効に活用することで、研究目標の達成を目指すものです。

研究プログラムは複数の部署の教員から構成され、1研究プログラム、最大4年間の予定です。

No.	研究プログラム名称	リーダー名	所属・職名
1	サスペンションアレイ法による慢性炎症性疾患の病態解析と早期診断法の開発	柏村 信一郎	先端医学研究所生体防御部門 講師

No.	研究プログラム名称	リーダー名	所属・職名
2	神経細胞活性化、神経細胞死抑制、神経細胞再生による新規認知症治療薬・治療法の開発	西崎 知之	生理学第2 教授
3	サイトカインを用いた癌の免疫療法の確立とその臨床までの活用	寺田 信行	病理学第1 教授
4	アディポサイトカイン異常症としてのメタボリックシンドロームの包括的研究	山本 徹也	内科学内分泌代謝科 教授

【配分額】 1プログラム 6,000千円/年とする。

リーダー名のアルファベット順

平成19年度教員研究費助成配分者決定

この研究費助成は本学の教員の研究の活性化を図り、本学の研究能力を向上させることを目的とします。教育教授、臨床教授及び准教授以下の教員を対象とします。なお、文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の1年目の受領者は対象外とし、当該年度科学研究費補助金申請者で採択されなかった者は選考において優遇しています。

	研究者氏名	所属部局	職名	研究課題
1	前田 誠司	解剖学第1	講師	食虫目スルクス(Suncus murinus)腎ネフロンにおけるアクアポリンの局在とその制御について
2	小畑 浩一	解剖学第2	講師	神経因性疼痛におけるグリア細胞の役割と細胞内シグナル伝達
3	横江 俊一	生化学	助教	IL-18受容体のN型及びO型糖鎖の心機能に及ぼす役割
4	北中 純一	薬理学	准教授	覚せい剤精神病モデル動物の行動薬理学的および神経化学的評価
5	山田 直子	病理学第1	講師	インターロイキン18とα-ガラクトシルセラミドの併用によるがんの肺転移抑制の機構
6	林 周平	病原微生物学	助教	ヒトヘルペスウイルス-6における潜伏感染機構の解析
7	野崎 潤一	公衆衛生学	助教	微小粒子状物質による大気汚染の健康影響評価方法の検討と細胞毒性の解析
8	高橋 裕二	環境予防医学	助教	糖尿病合併症としての動脈硬化の炎症性機序に関する分子生物学的研究
9	中野 知之	環境予防医学	助教	脂質性二次メッセンジャー代謝酵素ジアシルグリセロールキナーゼによるtransient receptor potentialチャネルの活性化調節機構の解析
10	吉原 哲	内科学(血液内科)	助教	造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植後髄外再発の発症メカニズム解明および早期診断法の開発
11	森脇 優司	内科学(内分泌・代謝科)	准教授	シュ糖摂取による血漿プリン塩基の変動とアカルボース投与の影響
12	蓮池 由起子	内科学(腎・透析科)	学内講師	腹膜透析患者におけるポリオール代謝・アルドース還元酵素発現の検討-カルボニルストレス・酸化ストレスへの関与および腹膜中皮細胞への作用についての臨床研究
13	大塚 欣敏	小児科学	助教	若年性骨髄単球性白血病における癌化メカニズム解析に基づく新たな分子標的療法の開発、および白血病細胞の細胞分化における制御機構の解明
14	樽谷 勝仁	皮膚科	講師	アレチンの表皮形成における役割の検討
15	西村 雅史	眼科学	助教	ヘパリン結合性上皮増殖因子様増殖因子(HB-EGF: heparin-binding epidermal growth factor-like growth factor)の制御による視神経再生の試み
16	瀬尾 徹	耳鼻咽喉科学	講師	骨導刺激VEMP検査による慢性中耳炎患者の平衡機能に関する研究
17	小石 健二	外科学	助教	ケモカインを中心とした食道癌における遠隔転移規定因子の検索とその臨床的有用性
18	横山 茂和	形成外科学	助教	放射線性創傷治癒障害における細胞接着因子の関与の検討
19	長谷川 誠実	歯科口腔外科学	助教	歯髄刺激に対する海馬循環動態と海馬内アデノシン動態の解析
20	上農 喜朗	麻酔科学	准教授	麻酔関連薬物の相互利用に関する研究
21	羽尾 裕之	病院病理部	准教授	大動脈瘤の形成・進展・破裂と血管平滑筋細胞のフェノタイプおよびアポトーシスに関する研究
22	藤盛 好啓	先端研(細胞移植)	准教授	ヒトCD34陰性未熟造血幹細胞に関する研究
23	久保 秀司	先端研(細胞・遺伝子)	助教	レトロトランスポゾンを利用した新規遺伝子転送法の開発

【配分額】 1名：1,027,600円(2年間で使用)とする。

平成18年度教員及び大学院生学術賞決定

平成19年6月7日、教授会及び研究科教授会において、平成18年度兵庫医科大学教員学術賞及び大学院生学術賞の授与者が決定し、7月5日の教授会の席において授与式が行われ、学長から教員学術賞については表彰状と副賞(奨励金)が、また、大学院生学術賞については表彰状と記念品(パーソナルコンピュータ)がそれぞれ贈られました。

【教員学術賞】

所属・職名	氏名	備考
内科 リウマチ・膠原病科 助 教	北野 将康	・年齢が40歳以下 ・優れた業績から2名以下を選考する。

【大学院生学術賞】

専攻	氏名	備考
外科系 耳鼻咽喉科	桂 弘和	平成19年3月31日大学院修了 (早期学位授与) 学位：博士(医学)

平成19年度大学院生研究助成交付決定

番号	専攻	学年	氏名	研究課題	助成金配分額(千円)
1	生理系 解剖学(Ⅱ)	3	王 勝 蘭	炎症性メディエーターBradykininによるTRPA1チャンネルの機能調節機構	600
2	外科系 外科学(Ⅰ)	3	濱 田 哲 宏	オンコスタチンM遺伝子治療による肝障害および難治性炎症性腸疾患の克服	600
3	内科系 リウマチ・膠原病	3	黒 田 麻 衣	SpAで誘導されるTh1型喘息に対する抗IL-18抗体による治療効果の検討	600
4	外科系 眼科学	3	田 上 雄 一	経角膜電気刺激による視神経再生のメカニズム解明	600
5	内科系内科学 下部消化管	3	上小鶴 孝 二	急性期潰瘍性大腸炎患者に対する末梢血白血球系細胞除去療法的作用機序(末梢血と組織から)	600
6	内科系内科学 下部消化管	3	戸 澤 勝 之	熱ショック蛋白分泌に着目した顆粒球吸着療法の免疫学的作用機序の系統的解明	500
7	外科系 産科婦人科学	3	カロンゴス ジャンニーナ	卵透明帯抗体が卵巣機能障害を起こすメカニズムに関する研究	500

(注) 番号は評価成績の順

学位の授与

甲第488号

伊藤 宏一 (H19.9.6)

(学位論文名)

Biochemical property and immunogenicity of mouse male reproductive tract CD52 (mrt-CD52)

【 雄性生殖器官に存在するCD52の生化学的特性とその免疫原性に関する検討 】



乙第298号

小林 希実子 (H19.5.10)

(学位論文名)

Distinct expression of TRPM8, TRPA1, and TRPV1mRNAs in rat primary afferent neurons with Aδ/C-fibers and colocalization with Trk receptors

【 ラット一次求心性神経細胞のAδ/C線維細胞におけるTRPM8, TRPA1, TRPV1の特異的な発現およびTrk受容体との共存関係 】



甲第489号

清野 仁美 (H19.9.30)

(学位論文名)

IL-18 mediates the formation of stress-induced, histamine-dependent gastric lesions

【 ストレス性胃粘膜病変形成におけるヒスタミンを介したIL-18の関与 】



平成18年度 学生が選ぶベストティーチャー賞受賞者

学 年	所 属	職 位	氏 名
第1学年次	英語	講 師	古瀬 明里
第2学年次	呼吸器外科学	准教授	田中 文啓
第3学年次	整形外科学	准教授	麩谷 博之
第4学年次	内科学 呼吸器・RCU科	准教授	福岡 和也
第5学年次	リハビリテーション部	ベストポリクリ賞として部で受賞	



古瀬講師



田中准教授



麩谷准教授



福岡准教授

(教務学生課)

西 医 体



第59回西日本医科学生総合体育大会
評議委員 第4学年次 浜口 ゆき

今回、兵庫医科大学の代表として大会の運営を手伝わせて頂きました。今大会は、京都大学からの移管により4競技で兵庫医科大学が主管となり、各競技責任者や教務学生課の方々と連絡や確認をお願いし、各クラブ代表の方にたくさんの作業をしていただき、何とか評議委員としての仕事を終えることが出来ました。本当にご協力ありがとうございました。

運営側に立ったことで、西医体は本当に規模の大きな大会であるということ、そして、私達医学生にとってと

ても貴重な場であるこの大会を全て医学生自身で作りに上げていることに気がきました。とても誇らしく思います。

人の集まる場所には、たくさんのお会いや感動があふれています。私自身、硬式庭球部員として大会のなかでたくさんの感動を得ることが出来ました。大会でも展覧会でもコンサートでも、こうした感動の生まれる場所を大切にしていきたいと思います。そして、これからの西医体も、参加者にとって有意義な大会になることを願います。一年間、ありがとうございました。

平成19年度西日本医科学生総合体育大会の結果

クラブ名	種目・部門	順位	備考	クラブ名	種目・部門	順位	備考
合気道部	団体の部	第2位		剣道部	男子個人戦	ベスト32	(4年) 高橋 怜嗣
	個人の部	第1位	(5年) 中達 誉 (4年) 針金 幸代		女子個人戦	ベスト16	(4年) 佐藤 淑
					女子個人戦	ベスト32	(2年) 合田 菜穂
柔道部	男子団体戦	予選落ち		バスケットボール部	男子団体戦	2回戦進出	
	女子個人戦	第2位	(6年) 賀来 佳子		女子団体戦	2回戦進出	
	女子個人戦	ベスト8	(5年) 市橋真理子	バレーボール部	男子団体戦	初戦敗退	
	女子個人戦	ベスト8	(4年) 石田 理沙		女子団体戦	初戦敗退	
	(全医体)	女子個人戦	第2位	(6年) 賀来 佳子	準硬式野球部	男子団体戦	ベスト8
(全医体)	女子個人戦	第3位	(5年) 市橋真理子	バドミントン部	男子団体戦	ベスト16	
剣道部	男子団体戦	予選落ち			男子個人ダブルス	ベスト8	(3年) 上村 尚 (3年) 中村 晃史
	女子団体戦	予選落ち					

クラブ名	種目・部門	順位	備考	クラブ名	種目・部門	順位	備考	
バドミントン部	女子個人シングルス	ベスト32	(6年) 廣渡 美紀	卓球部		2回戦進出	(2年) 関 美和子	
	女子個人シングルス	ベスト64	(4年) 林 加奈子		男子個人戦ダブルス	2回戦進出	(5年) 飯田 康 (4年) 森川 暢	
	女子個人ダブルス	ベスト32	(5年) 岡所由希子 (5年) 住浦 絵美			2回戦進出	(2年) 松尾 祥平 (1年) 貴志 豪俊	
	女子個人ダブルス	ベスト32	(2年) 沢辺 潤子 (2年) 細羽 梨花		女子個人戦ダブルス	2回戦進出	(5年) 金尾世里加 (2年) 杉山由希子	
硬式庭球部	男子団体戦	2回戦進出		ゴルフ部	団体の部	8位		
	女子団体戦	2回戦進出			ラグビー部	男子団体戦	初戦敗退	
	男子団体戦	初戦敗退			ヨット部	団体(総合)	10位	
	女子団体戦	初戦敗退		団体(国際470級)		11位		
	男子個人戦ダブルス	ベスト32	(4年) 吉水 祥一 (4年) 永尾 祐介	団体(スナイプ級)		12位		
	女子個人戦ダブルス	ベスト32	(4年) 渡邊 優子 (2年) 今本 千絵	アーチェリー部	男子ハーフラウンド	1位	(2年) 内橋 孝史	
サッカー部	男子団体戦	初戦敗退		(全日本医科学生 アーチェリー大会)	男子グリーンランド	4位	(1年) 和田 吉弘	
卓球部	男子個人戦シングルス	3回戦進出	(5年) 飯田 康	女子シングルラウンド	6位	(3年) 馬場口由佳		
		3回戦進出	(4年) 森川 暢	女子グリーンラウンド	4位	(1年) 本田 晶子		
		2回戦進出	(1年) 川端 一美		5位	(1年) 李 侑香		
	女子個人戦シングルス	4回戦進出	(5年) 金尾世里加	※陸上競技部・水泳同好会は本年度西医体に不参加。				
		3回戦進出	(2年) 丸尾 沙織					



・ 兵庫医科大学病院TOPICS ・

病 院 概 況

患者数

区 分	入 院 (診療日数153日)						外 来 (診療日数116日)			
	診療 日数	新入院 患者数	退 院 患者数	在院延 患者数	病 床 稼働率	平均在 院日数	診療 日数	新 外 来 患者数	外 来 延 患者数	
19年 4月	30	1,365(45.5)	1,389(46.3)	20,974(699.1)	81.9	15.2	22	3,726(169.4)	50,854(2,311.5)	
5月	31	1,560(50.3)	1,451(46.8)	21,858(705.1)	82.6	14.5	22	4,182(190.1)	52,491(2,386.0)	
6月	30	1,517(50.6)	1,570(52.3)	21,673(722.4)	85.1	14.0	24	4,498(187.4)	53,821(2,242.5)	
7月	31	1,543(49.8)	1,513(48.8)	23,192(748.1)	87.6	15.2	23	4,388(190.8)	55,206(2,400.3)	
8月	31	1,628(52.5)	1,628(52.5)	22,993(741.7)	87.3	14.1	25	4,491(179.6)	56,183(2,247.3)	
計	153	7,613(49.8)	7,551(49.4)	110,690(723.5)	87.3	14.1	116	21,285(183.5)	268,555(2,315.1)	
前年度対比	—	103.4%	102.4%	87.7%	0.5	△2.3	—	77.5%	102.6%	

※()は1日平均

内視鏡手術シミュレーター室の開設

平成19年5月1日に1号館4階中央手術部の向い側に内視鏡手術シミュレーター室が稼動しました。当シミュレーター室は内視鏡手術に携わる内外の医師や、これから内視鏡手術を学ぼうとする医師や学生のスキルアップと教育を目的として設置され、室内には最先端の3Dバーチャルシミュレーター機器が3台、鉗子操作・縫合訓練用の機器4台に加え、ポリクリ学生用の基本的な教育設備を備えています。将来的には独自の教育カリキュラムを整備し、学外の医師のための講習会の実施や、本学の学生教育のカリキュラムの一端を担うものとして期待されています。



神戸メディカルラリー参加(3位入賞)

平成19年5月19日(土)に神戸市北区「しあわせの村」にて第4回神戸メディカルラリーが開催されました。メディカルラリーとは、救急医療機関の医師と看護師及び消防機関の救急救命士が医療チームを組み、特殊メーキャップをした模擬患者を診察して限られた時間内に治療を行う競技会です。今年は第10回日本臨床救急医学会総会・学術集会の1プログラムとして実施され、当院救命救急センター医師2名と8-1病棟看護師2名、西宮市消防局から2名の救急救命士がチームを組んで参加し、全国から集まった16チームの中で、見事3位入賞を果たしました。



(病院事務部 管理課)

地域医療懇談会

6月2日(土)、医療機関関係者との親睦を深めるため『第7回地域医療懇談会』が尼崎のホテルアルカイクにて開催されました。

総勢85名の皆様にご出席をいただき、順天堂大学・医学部公衆衛生学講座・准教授・田城孝雄先生による「在宅療養支援診療所のあるべき姿を考える」という、今後ますます重要視される話題についての講演が行われました。懇談会終了後には懇親会も催され、非常に充実した内容となりました。



(地域医療・総合相談センター)

看護の日 記念行事

例年行われている「看護の日記念行事」が今年も5月11日(金)に行われました。毎年、バラの花プレゼントや記念演奏会を通して、闘病中の患者さんの1日も早い回復と心の安らぎを願う気持ちをお贈りしています。ふれあい看護体験では将来の看護職を目指す2名の参加があり、患者さんの励ましや感謝の言葉に感動していました。



(看護部)

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン™よりキャラクターたちが来訪

8月7日(火)、今年で第3回目となる、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのウッディー・ウッドベッカー™などのキャラクターたちによる楽しいショーが催され、多くの小児入院患者が楽しいひと時を過ごしました。



Woody Woodpecker and Friends™ & © Walter lantz Productions, Inc. Universal Studios Japan™ Universal Studios. All rights reserved. CR07-3051

中学生体験活動「トライやる・ウィーク」

今年も5月28日(月)から6月1日(金)まで学文中学校の2年生4名が参加しました。病院の仕事に興味津々で患者さんや病院スタッフと一緒に多くのことを経験しました。
(看護部)



(株)エイチ・アイより階段避難用車椅子「イーバック・チェアー」の寄贈

本年度、(株)エイチ・アイより階段避難用器具(車椅子)「イーバック・チェアー」18台の寄贈があり、9月7日(金)午前11時から第1会議室において寄贈式が行われました。

イーバック・チェアーとは、英国のEvac Chair International ltd. が開発・実用化した階段非難器具で、エレベーターが使用できない非常時や災害時に身体の不自由な方や歩行が困難な方を上層階から階段を使用して、安全・円滑・迅速に建物外へ避難させることができる車椅子です。災害発生時に、看護師等が一人で患者を階段から非難させることができる、非常に有用な避難具となります。

当院は災害拠点病院であり、今後も災害対策として器具も充実させていく必要があると考えます。

設置場所は10号館4～9階、1号館6～11階東西です。

(病院事務部 管理課)



右より(株)エイチ・アイ飯田社長、山村病院長、看護部西坂次長



階段も一人で簡単に操作

・兵庫医療大学TOPICS・

兵庫医療大学 開学記念式典・祝賀会

兵庫医療大学開学記念式典・祝賀会が、5月12日(土)に開催されました。

開学記念式典に先立ち午前9時から施設見学会が行われました。式典は、午前10時30分から本学オクタホールにおいて挙行され、ご招待した兵庫県、神戸市をはじめとする公共機関・関係団体・近隣大学・地元自治会・工事関係者等にご臨席いただきました。学内からは、法人本部及び兵庫医科大学の関係者さらに兵庫医療大学の教職員等も含め400名を超え、会場のオクタホールは満席とな



開学記念式典 (オクタホール)

り、盛会の内に取り行われました。式典に引き続き、前大阪大学総長の岸本忠三先生の記念講演が行われました。

午後12時30分からは、神戸港を眺望する学内レストランにおいて祝賀会が行われました。祝賀会は、波田兵庫医科大学長の挨拶の後、来賓として藤井基之参議院議員からご祝辞をいただき、眞弓忠範神戸学院大学長の乾杯のあと歓談となり、薬学部、看護学部、リハビリテーション学部の各学部長からそれぞれ披露スピーチがあり、佐藤副学長の謝辞により閉会しました。



祝賀会 (学内レストラン)
(管理・運営グループ)

開学半年を経過して

学校法人兵庫医科大学の大きな節目の事業であります新大学、兵庫医療大学は、この4月ポートアイランドで晴れやかに開学いたしました。神戸の海と六甲山の景観が楽しめ、斬新でヨーロッパ風の素晴らしい校舎とオープンなキャンパスのもと、澁刺たる360名を超える第一期生をここに迎えました。

兵庫医療大学の教育の特徴でありますボーダレス、チーム医療、といったキーワードは既に学生の中に浸透しています。先生方が皆熱い、とも言われています。体育館はまだ未整備ですが、学生たちはサークル活動も始め、充実した素晴らしい図書館での学習など、いい雰囲気です。学生生活を楽しんでいます。

いよいよ2年目の学生募集活動が始まり、既に4回の



授業風景

学長 松田 暉
オープンキャンパスを行いました。素晴らしい校舎、実習病院を持つこと、カリキュラムに特徴あること、オープンな雰囲気、教員が親切、などで人気が高くなっています。看護学部、リハビリテーション学部はもとより、6年制になり厳しい環境の薬学部も関心度が着実に高くなってきていることは嬉しい限りです。

この10月にはレストランもスタートします。体育館とテニスコートも募金事業が順調に進んだお陰で工事が始められることになりました。兵庫医科大学と連携する医薬共同先端医療研究センターも立ち上がります。教職員一同、兵庫医療大学を皆様が期待する大学に発展させるために弛まぬ努力を続ける所存であります。今後ともご支援ご鞭撻をお願いし、開学のご報告といたします。



10月オープンのレストラン

4大学連携合同イベント「ポーアイ“学び”ライブ」及び「シリーズ公開講座」

今春ポートアイランドに新キャンパスを同時にオープンした本学、神戸学院大学、神戸夙川学院大学および既存の神戸女子大学の4大学連携により、5月26日に「ポーアイ“学び”ライブ」を開催しました。当日は、本学オクタホールにおいて、元日本代表ラグビー選手の大八木淳史氏をお迎えし、記念講演を行いました。また同時に、神戸夙川学院大学アリーナにて「仕事発見フェア」と題し、4大学から多種多様な職業紹介ブースを出展するとともに、4大学キャンパスの施設見学会&スタンプラリーを催し、たくさんの方々にご来場いただきました。



大八木 敦史氏記念講演

また、6月2日から4週にわたり4大学持ち回り形式によるシリーズ公開講座を実施し、本学においては6月9日に3学部教員によるリレー講座「健康を考える」を開催しました。参加者は、「腰痛・肩こり」や「子育て支援」「サプリメント・健康食品」をテーマとした各講座に真剣に聞き入っておられました。

いずれのイベントも、新しい学園都市の始動を記念する催しとして、盛況に終えることができました。ご来場いただきました皆様には、改めて厚く御礼を申し上げます。
(入試・就職グループ)



職業紹介ブースでの相談会

オープンキャンパス

開学初年度のオープンキャンパスは、7月15日、8月11日、8月12日、9月2日と計4回にわたって開催しました。

第1回(7月15日)は「兵庫医療大学で何が学べるか」をテーマに、大学概要&入試概要説明ガイダンスおよび各学部概要説明を中心に、兵庫医療大学がどういう大学なのか、本学で何が学べるのかを知って頂き、第2・3回(8月11・12日)では「兵庫医療大学で学べることを体験してみよう!!」をテーマに、各学部ミニ講義&体験実習によって、各学部の教育内容を受験生・高校生の方に実際に体験して頂きました。



リハビリテーション学部体験実習「車いすや装具を体験してみよう」

さらに第4回(9月2日)は、「チーム医療を体験してみよう!」をテーマに全4回のオープンキャンパスの締めくくりとして、本学の教育テーマである「チーム医療」について、簡単なゲームを通じて体感して頂こう、というコンセプトで企画しました。志望学部を問わず、数名のチームを組んでゲームに参加いただくという、通常のオープンキャンパスとは異なる趣向の企画でしたが、参加者には大変好評でした。

いずれも好天に恵まれ、延べおよそ2,200名の方々にご来場いただき、盛況に終えることができました。

(入試・就職グループ)



看護学部体験実習「赤ちゃん人形を抱いてみよう」

・ 附属看護専門学校TOPICS ・

ホームカミングデイ



5月26日、6月2日に本校卒業の新人看護職員を対象に、早期離職防止対策として、ホームカミングデイを開催いたしました。今年初めての試みでしたが、参加者からは好評で、また開催してほしいという希望が寄せられました。看護師等、医療従事者は、常に緊張感をしいられるストレスの多い職業ですので、引き続き、暖かい眼で見守っていきたいと思います。皆様の更なるご支援をお願い申し上げます。

(看護専門学校事務室)

・ 法人TOPICS ・

役員・評議員の異動

理事

就任

高岡 道雄 理事 (平成19年6月1日付)



高岡理事は、昭和24年生まれ、47年3月神戸大学工学部計測工学科卒業、50年3月神戸大学大学院修了、57年3月徳島大学医学部医学科卒業、58年4月兵庫県庁入庁、61年4月兵庫県保健所健康課長、62年4月兵庫県保健環境部地域保健課結核感染症係長、63年4月兵庫県保健環境部地域保健課長補佐兼成人保健係長、平成元年4月兵庫県社保健所長、3年7月兵庫県加西保健所長兼務、5年4月兵庫県保健環境部健康課長、8年4月兵庫県保健部医務課長、10年4月兵庫県和山保健所長兼但馬長寿の郷参事、13年4月兵庫県加古川健康福祉事務所長、16年4月兵庫県健康生活部参事(尼崎市派遣)、19年4月兵庫県健康生活部健康局長

再任

山村 武平 理事 (平成19年6月1日付)

森田 泰夫 理事 (平成19年6月1日付)

辞任

細川 裕平 理事 (平成19年5月31日付)

評議員

就任

後藤 章暢 評議員 (平成19年6月1日付)



後藤評議員は、昭和35年生まれ、62年3月産業医科大学医学部医学科卒業、平成4年3月神戸大学大学院医学研究科博士課程修了、昭和62年6月神戸大学医学部附属病院臨床研修医泌尿器科、平成4年4月国立神戸病院泌尿器科レジデント、平成6年7月アメリカテキサス大学MDアンダーソン癌センターフェロー、平成7年7月アメリカウ

ージニア大学ヘルスサイエンスセンターフェロー、8年7月神戸大学医学部助手泌尿器科、12年1月神戸大学医学部附属病院泌尿器科外来医長、13年11月神戸大学医学部国際交流センター助教授、14年1月神戸大学医学部遺伝子診療部副部長兼任、14年5月韓国高麗大学医学部臨床教授兼任、15年12月昭和大学医学部兼任講師兼任、17年11月独立行政法人中小企業基盤整備機構・神戸医療機器開発センター長兼任、18年1月兵庫医科大学先端医学研究所 研究所教授、18年1月国立大学法人神戸大学連携創造本部客員教授、18年3月先端医療振興財団クラスター推進センター医工連携ディレクター兼任。19年5月舞鶴地域医療あり方検討委員会委員長、19年8月兵庫医科大学経営企画室副室長兼任。

山中 若樹 評議員 (平成19年6月1日付)



山中評議員は、昭和24年生まれ、50年3月信州大学医学部医学科卒業、60年9月医学博士、50年5月兵庫医科大学第一外科臨床研修医、52年6月兵庫医科大学第一外科医員、52年10月明和病院外科医員、54年1月兵庫医科大学

第一外科医員、54年4月兵庫医科大学第一外科助手、58年6月アメリカ合衆国カリフォルニア大学研究員、59年6月アメリカ合衆国ミネソタ大学研究員、63年2月兵庫医科大学第一外科学内講師、64年1月兵庫医科大学第一外科講師、平成6年11月兵庫医科大学第一外科助教授、13年3月医療法人明和病院外科部長、13年5月医療法人明和病院副院長兼外科部長、17年5月医療法人明和病院理事長兼院長。

今井 雅尚 評議員 (平成19年6月1日付)



今井評議員は、昭和30年生まれ、56年3月神戸大学医学部医学科卒業、63年3月神戸大学大学院修了、63年9月兵庫県立こども病院診療部心臓血管外科医長、平成8年6月兵庫県立柏原病院診療部外科医長、11年4月兵庫県健康福祉部健康増進課室長、12年4月兵庫県県民生活部健

康福祉部健康増進課室長、12年4月兵庫県県民生活部健

康福祉局医療課室長、16年4月兵庫県健康生活部参事、
18年4月兵庫県明石健康福祉事務所長、19年4月兵庫県
健康生活部参事兼健康局医務課長。

辞任
岡村 春樹 評議員 (平成19年5月31日付)
山本 嘉彦 評議員 (平成19年5月31日付)
退任
森 俊雄 評議員 (平成19年5月31日付)

名誉教授の称号授与

平成19年4月1日付で、名誉教授の称号が授与されました。



中尾 宣夫 教授 (放射線医学)
(平成19年3月31日 定年退職)



山村 武平 教授 (外科学第2)
(平成19年3月31日 定年退職)

人事異動

〔西宮キャンパス〕

1. 兵庫医科大学・兵庫医科大学病院

〔昇任〕

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.6.1	小瀧 慶長	講師〔内科学 腎・透析科〕
19.7.1	小谷 穰治	准教授〔救命救急センター〕
〃	森 鑑二	講師〔脳神経外科学〕
19.7.16	狩谷 伸享	講師〔麻酔科学〕
19.8.1	和泉 雅章	准教授〔内科学 腎・透析科〕
〃	豊岡 眞理	副主任コーディネーター〔治験センター〕
〃	岩佐 一史	学務部教務学生課長 医学教育センター兼務
〃	三浦 光太郎	学務部視聴覚教育センター事務室課長補佐
〃	村上 央展	学務部入試課長補佐
〃	太田 武彦	経営企画室経営企画課長補佐
〃	谷 和彦	総務部人事課人事係長
〃	土井 恵美	財務部経理課経理係長

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.8.1	岡田 成弘	財務部経理課財務係長
〃	足立 伸行	学務部研究技術第1課係長〔共同利用研究施設担当〕
〃	中安 岳	病院事務部管理課庶務係長
〃	坂口 貴志	病院事務部医療情報課医療情報係長
〃	後藤 浩	病院事務部病歴課病歴係長
〃	南部 拓也	広報室広報課主任
〃	藤原 美帆	総務部人事課主任
〃	川上 健太	総務部人事課主任
〃	村上 哲夫	学務部教務学生課主任
〃	宮崎 祐佳	学務部教務学生課主任
〃	中野 裕子	学務部図書課主任
〃	幸田 雅美	病院事務部医事課主任

〔配置換え・兼任等〕兼任等の解除は下記に載せておりません。

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.4.1	佐野 統	教授〔内科学 リウマチ・膠原病科〕 治験センター長兼任
〃	門林 宗男	薬剤部長 治験センター副センター長兼任
〃	和田 恭直	主任技師〔臨床検査部〕 感染制御部兼務
19.4.16	奥谷 朋子	総務部総務課主任
〃	川上 吉美	技術員〔治験センター〕
19.4.23	伊田 ひとみ	病院事務部管理課主任
19.5.1	岡田 敏弘	助教〔外科学〕 第一外科外来医長兼任
〃	齊藤 慎一	助教〔外科学〕 第一外科病棟医長兼任

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.5.1	幸田 雅美	事務員〔病院事務部医事課〕
19.5.16	戸祭 正喜	助教〔整形外科〕 整形外科外来医長兼任
〃	橘 俊哉	助教〔整形外科〕 整形外科病棟医長兼任
〃	中村 光子	事務員〔篠山病院事務部医事課〕
19.6.1	福田 能啓	臨床教授〔臨床栄養部〕 総合診療部兼務
〃	肥塚 浩昌	助教〔臨床栄養部〕 総合診療部兼務
〃	武信 尚史	助教〔産科婦人科学〕 産科婦人科病棟医長兼任

〔配置換え・兼任等〕兼任等の解除は下記に載せておりません。

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.6.16	上田 敬博	助教〔救命救急センター〕 救命救急センター病棟医長兼任
19.7.1	池亀 和博	講師〔内科学 血液内科〕 講師(先端医学研究所細胞移植部門)兼任
〃	玉置 広哉	講師〔内科学 血液内科〕 講師(先端医学研究所細胞移植部門)兼任
〃	田村 邦宣	助教〔内科学 呼吸器・RCU科〕 内科 呼吸器・RCU科病棟医長兼任
〃	一瀬 理加	看護主任〔ペインクリニック部〕
〃	中野 孝司	教授〔内科学 呼吸器・RCU科〕 がんセンター長兼任
19.7.16	正井 美帆	助教〔内科学 冠疾患科〕 救命救急センター兼務
〃	鳥巢 佳子	助教〔医療社会福祉部〕
19.8.1	佐古田 剛	准教授〔内科学 冠疾患科〕 内科 冠疾患科診療副部長兼任
〃	上紺屋 憲彦	准教授〔放射線医学〕 放射線科診療副部長兼任
〃	久保山 一敏	講師〔救命救急センター〕 救命救急センター副部長兼任
〃	岩佐 義久	総務部次長 総務部総務課長兼任
〃	幸田 章義	学務部次長 学務部入試課長兼任

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.8.1	甲斐 義啓	病院事務部次長(医事担当) 経営企画室次長兼任
〃	高城 一彦	広報室広報課長 人材対策室兼務
〃	井出 唯敬	神戸キャンパスオフィス図書館・ 情報グループマネージャー
〃	松嶋 正紀	総務部参事 株式会社エイチ・アイ出向
〃	河村 康彦	学務部学務課長 学務部知的財産統括室課長兼任
〃	秋山 治	病院事務部病歴課長
〃	内藤 泰	病院事務部医事課長
19.8.1	入江 猛	経営企画室経営企画課長補佐
〃	小寺 斉人	総務部主事 株式会社エイチ・アイ出向
〃	堀井 健司	病院事務部医療情報課情報分析係長
〃	宮内 勝子	学務部入試課係長
〃	中島 貴子	財務部経理課主任
〃	山崎 邦弘	学務部入試課主任
〃	大西 幸子	事務員〔兵庫医科大学附属看護専門学校事務室〕
〃	西尾 健太郎	事務員〔学務部入試課〕
〃	村上 裕一	事務員〔病院事務部医療情報課〕
〃	福山 昭子	事務員〔広報室広報課〕
〃	田代 敬一	事務員(嘱)〔病院事務部〕

〔委 嘱(学内講師)〕

発令日	氏名	現職名〔所属〕/委嘱職名
19.5.1	根来 篤	助教〔耳鼻咽喉科学〕/学内講師

発令日	氏名	現職名〔所属〕/委嘱職名
19.7.1	松平 宗典	助教〔救命救急センター〕/学内講師

〔採 用〕

採用日	氏名	職名〔所属〕
19.4.16	森本 梨紗	実験補助(嘱)〔内科学(呼吸器・RCU科)〕
19.5.1	坂井 良行	病院助手〔内科(肝・胆・膵科)〕
〃	大橋 浩一郎	病院助手〔第一外科〕
〃	中村 裕子	病院助手〔内科(糖尿病科)〕
〃	橋本 学	レジデント〔内科(上部消化管科)〕
〃	中山 奨	レジデント〔皮膚科〕
〃	平田 真由美	看護師〔看護部(9階西病棟)〕
〃	岡部 真理	看護師〔看護部(ICU)〕
〃	田中 佐智子	実験補助(嘱)〔外科学〕
19.5.16	樽谷 勝仁	講師〔皮膚科学〕 皮膚科医局長兼任
〃	蔵下 舞	歯科衛生士〔歯科口腔外科〕
〃	廣野 博美	看護補助(準)〔看護部(11階東病棟)〕
〃	山内 ひで子	看護補助(準)〔看護部(中央手術部)〕
〃	湯川 俊一	用務員(臨)〔病院事務部管理課〕
19.6.1	長尾 佳奈	助教△〔麻酔科学〕
〃	上田 敬博	助教△〔救命救急センター〕
〃	東 直人	病院助手〔内科 リウマチ・膠原病科〕

採用日	氏名	職名〔所属〕
19.6.1	小熊 孝	病院助手〔形成外科〕
〃	片山 茂明	レジデント〔眼科〕
〃	山田 智美	看護師〔看護部(8階東病棟)〕
〃	丁村 礼美	看護師〔看護部(8-1病棟)〕
〃	保倉 信子	看護補助(準)〔看護部(CCU)〕
〃	井之上 智子	看護補助(準)〔看護部(9階西病棟)〕
〃	渡邊 奈津子	実験補助(嘱)〔内科学 内分泌・代謝科〕
〃	山田 裕子	実験補助(嘱)〔内科学 肝・胆・膵科〕
〃	森脇 輝子	実験補助(嘱)〔外科学〕
19.6.16	落合 瞳	薬剤師○〔薬剤部〕
〃	都田 ひかり	看護師〔看護部(10-9病棟)〕
〃	小池 麻似子	実験補助(嘱)〔整形外科〕
19.7.1	笹子 三津留	特命教授
〃	林 英明	講師〔麻酔科学〕
〃	江角 章	臨床講師〔内科学 循環器内科〕
〃	北島 俊一	研究所講師〔先端医学研究所細胞・遺伝子部門〕
〃	吉田 康彦	助教△〔外科学〕
〃	狩谷 伸享	助教〔麻酔科学〕

〔採用〕

採用日	氏名	職名〔所属〕	採用日	氏名	職名〔所属〕
19.7.1	中野 範	助教〔麻醉科学〕	19.7.1	山下 晶子	薬剤師(嘱)〔薬剤部〕
〃	森寺 邦康	助教〔歯科口腔外科学〕	19.7.16	中村 理香	看護師〔看護部(10-7病棟)〕
〃	海老名 俊亮	病院助手〔小児科〕	〃	金井 和美	看護補助(準)〔看護部(11階西病棟)〕
〃	佐竹 真	病院助手〔外科〕	〃	里村 智美	看護補助(準)〔看護部(内視鏡センター)〕
〃	渡辺 佳菜子	病院助手〔麻醉科〕	〃	神谷 紀子	実験補助(嘱)〔内科学 上部消化管科〕
〃	阿部 徹也	病院助手〔歯科口腔外科〕	19.8.1	浦 尚美	看護師○〔看護部(10-8病棟)〕
〃	本田 耕一郎	事務員〔病院事務部病歴課〕	〃	齊野 敬子	事務員(嘱)▲〔看護部(10階東病棟)〕
〃	村上 和子	看護補助(準)〔看護部(6階東病棟)〕	〃	伊藤 真理	実験補助(嘱)〔生理学第1〕
〃	吉川 晴美	看護補助(準)〔看護部(8階西病棟)〕	〃	山長 洋子	実験補助(嘱)〔呼吸器外科学〕
〃	高橋 都子	看護補助(準)〔看護部(内視鏡センター)〕	〃	牧 寛子	学生相談員(嘱)〔学務部教務学生課〕
〃	赤根川 恭子	実験補助(嘱)〔内科学 上部消化管科〕			

△は病院助手から助教に採用された者を示す。

○は嘱託職員から職員に、▲は準職員から嘱託職員に採用された者を示す。

〔退職〕

退職日	氏名	職名〔所属〕	退職日	氏名	職名〔所属〕
19.4.3	井戸 洋子	看護補助(準)〔看護部(中央手術部)〕	19.6.30	奥井 森	病院助手〔歯科口腔外科〕
19.4.30	南 祥一郎	講師〔皮膚科学〕	〃	西澤 梨乃	看護師〔看護部(6階東病棟)〕
〃	児島 正道	助教〔外科学〕	〃	明賀 宣佳	看護師〔看護部(6階西病棟)〕
〃	金田 由美	助教〔小児科学〕	〃	藤木 美保	看護師〔看護部(7階西病棟)〕
〃	石川 哲也	病院助手〔内科 糖尿病科〕	〃	久米美由紀	看護師〔看護部(9階東病棟)〕
〃	高嶋 智之	病院助手〔内科 肝・胆・膵科〕	〃	保 由利香	看護師〔看護部(9階西病棟)〕
〃	城 大介	病院助手〔外科〕	〃	立石 和代	看護師〔看護部(11階東病棟)〕
〃	中野 裕子	看護師〔看護部(10-5病棟)〕	〃	岩永 理江	看護師〔看護部(11階東病棟)〕
〃	米岡 淑子	看護補助(準)〔看護部(中央手術部)〕	〃	能村 かおり	看護師〔看護部(11階西病棟)〕
〃	藤原 由美	看護師(嘱)〔看護部(泌尿器科外来)〕	〃	藤本 有希	看護師〔看護部(11階西病棟)〕
〃	平原 志乃	実験補助(嘱)〔内科学 上部消化管科〕	〃	枚田 英子	看護師〔看護部(11階西病棟)〕
19.5.10	瀬尾 菜奈枝	看護師〔看護部(10-8病棟)〕	〃	村木 健輔	看護師〔看護部(8-1病棟)〕
19.5.11	上西 寛子	事務員(嘱)〔病院事務部医事課〕	〃	幸本 順子	看護師〔看護部(10-8病棟)〕
19.5.13	新實 真紀	看護師〔看護部(8階西病棟)〕	〃	滝脇 めぐみ	看護師〔看護部(産科婦人科外来)〕
19.5.15	富永 美智子	看護補助(準)〔看護部(9階西病棟)〕	〃	赤銅 恵	看護師〔看護部(眼科外来)〕
〃	岸 恒成	用務員(臨)〔病院事務部管理課〕	〃	渡邊 舞	看護師〔看護部(中央手術部)〕
19.5.20	柳生 雅代	看護師〔看護部(6階西病棟)〕	〃	上甲 さくら	看護師〔看護部(ICU)〕
19.5.24	湯口 久美子	看護師〔看護部(7階西病棟)〕	〃	紀之定 静子	看護補助(準)〔看護部(耳鼻咽喉科外来)〕
19.5.31	森本 真史	助教〔内科学 循環器内科〕	〃	保倉 信子	看護補助(準)〔看護部(CCU)〕
〃	山口 幸洋	薬剤師〔薬剤部〕	〃	宮井 恵子	看護補助(嘱)〔看護部(内視鏡センター)〕
〃	野口 亜澄	看護師〔看護部(10-9病棟)〕	〃	池本 万里子	実験補助(嘱)〔生理学第1〕
19.6.10	村田 絵里	看護師〔看護部(7階西病棟)〕	〃	中本 理恵	実験補助(嘱)〔内科学 肝・胆・膵科〕
〃	外川 聖菜	看護師〔看護部(10-8病棟)〕	〃	中造 真衣子	実験補助(嘱)〔内科学 内分泌・代謝科〕
19.6.12	豊永 輝美	看護師〔看護部(10-7病棟)〕	〃	志伊 理絵	実験補助(嘱)〔内科学 上部消化管科〕
19.6.15	上田 郁奈代	事務員〔病院事務部病歴課〕	19.7.15	廣野 博美	看護補助(準)〔看護部(11階東病棟)〕
19.6.30	中川 由美	助教〔小児科学〕	19.7.25	岡 誉子	事務員〔病院事務部医事課〕
〃	孫 学炳	助教〔外科学〕	19.7.31	切田 学	講師〔救命救急センター〕
〃	中條 浩介	助教〔麻醉科学〕	〃	宮田 茂	助教〔内科学 呼吸器・RCU科〕
〃	夏見 淑子	助教〔歯科口腔外科学〕	〃	中村 未希	看護師〔看護部(10-4病棟)〕
〃	矢田 幸子	病院助手〔麻醉科〕	〃	田村 弥生	看護師〔看護部(中央手術部)〕

2. 附属看護専門学校

〔配置換え・兼任等〕

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.8.1	由良 純子	事務員〔病院事務部管理課〕

〔篠山キャンパス〕

1. 篠山病院

〔昇任〕

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.8.1	小林 雄一郎	篠山病院事務部会計課長補佐
〃	和田 庄司	篠山病院事務部庶務課庶務係長

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.8.1	吉高 徹	篠山病院事務部医事課主任

〔配置換え・兼任等〕兼任等の解除は下記に記載しておりません。

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.7.1	山下 妙子	副主任技師〔医療技術部(医療技術部門)リハビリテーション室〕 兵庫医科大学ささやま老人保健施設兼務

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.7.1	近藤 亜寿沙	作業療法士〔医療技術部(医療技術部門)リハビリテーション室〕 兵庫医科大学ささやま老人保健施設兼務

〔採用〕

採用日	氏名	職名〔所属〕
19.4.16	石野 真輔	助教〔兵庫医科大学篠山病院〕

採用日	氏名	職名〔所属〕
19.8.1	森田 和夫	看護師〔医療技術部(看護部門)看護課第5病棟〕

〔退職〕

退職日	氏名	職名〔所属〕
19.6.30	小坂 洋子	看護師〔医療技術部(看護部門)看護課中央部門〕

退職日	氏名	職名〔所属〕
19.6.30	松田 祐一	看護師〔医療技術部(看護部門)看護課第5病棟〕

2. ささやま老人保健施設

〔採用〕

採用日	氏名	職名〔所属〕
19.7.1	荒木 禎暁	介護員(嘱)〔療養室〕

〔退職〕

退職日	氏名	職名〔所属〕
19.6.30	山河 美紀	看護師〔療養室〕

退職日	氏名	職名〔所属〕
19.6.30	森崎 理恵	介護福祉士〔療養室〕

〔神戸キャンパス〕

兵庫医療大学

〔昇任〕

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.8.1	宿院 輝久	事務員(係長級)〔神戸キャンパスオフィス 教育・学生支援グループ〕 教育・学生支援グループリーダー

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.8.1	永田 悟士	事務員(主任級)〔神戸キャンパスオフィス 図書館・情報グループ〕

〔配置換え・兼任等〕

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.6.1	ポール・ダグラス・アンドリュウ	教授〔リハビリテーション学部 理学療法学科〕 リハビリテーション学部理学療法学科長兼任
〃	山田 大豪	教授〔リハビリテーション学部 作業療法学科〕 リハビリテーション学部作業療法学科長兼任

発令日	氏名	異動後の職名〔所属〕
19.8.1	佐々木 周一	経営企画室次長
〃	菊地 良平	神戸キャンパスオフィスゼネラルマネージャー(嘱)
〃	中村 高志	神戸キャンパスオフィス入試・就職グループマネージャー

〔採用〕

採用日	氏名	職名〔所属〕
19.7.1	菊地 良平	事務局長付(嘱)〔神戸キャンパスオフィス〕

職員の懲戒について

卒後臨床研修期間中の違法アルバイトの件について、本年8月に臨床研修医(当時)、所属科の診療部長、卒後臨床研修センター長及び病院長に対する処分を行ないました。

平成19年度事業計画の進捗状況報告と収支予算

(第1四半期終了時点現在)

兵庫医科大学では独立行政法人 工業所有権・情報研修館の「大学における知的財産管理体制の構築支援事業」に採択され、4月からアドバイザーの派遣を得て、知的財産管理体制の構築にとりかかりました。また、学生募集広報では5月から高校訪問活動を行い、全国の相談会にも参加し、大学の理解を深めるよう活動を行いました。教育機能の強化の一環としてカリキュラム再編を行い、第5年次の臨床実習を内科・外科をコア科としてクリニカルクラークシップ実習を開始、また7月には第2年次にエスコート実習を実施するなど確実に諸施策を実施しています。病院では4月から1号館13階病棟を休棟し、病床運営を開始しました。当初は在院患者数が目標に達しなかった時期もありましたが、6月から目標数を超え、安定した運営に向かっています。また、腫瘍センターを「がんセンター」と名称変更し、がん登録の準備など秋の稼働に向けて進行中です。兵庫医療大学は、4月に開学し、順調に滑り出しています。入試広報関連では20年度入試の概要を公表し、学生募集活動が本格的にスタートしました。5月12日には兵庫医療大学開学記念式典を実施し、また、ポートアイランド4大学開学記念イベントを5月26日に実施するなど、兵庫医療大学の理念を訪問者とともに体感することができました。篠山病院は一般病棟入院患者数の増加及び療養病棟入院患者数の安定した確保に向け、地域の医療機関との調整を行いながら取り組んでいます。ささやま老人保健施設は長期入所者・短期入所者の安定した確保と通所リハビリ・予防リハビリ利用者の安定した確保に向けて鋭意取り組んでいます。法人では経営企画室・広報室を設置しました。5月21日の常務会では、常勤理事の業務担当を明確にするとともに、常務会規程を一部改正しました。

消費収支予算

(単位：百万円)

収 入 の 部				支 出 の 部				
科 目	平成19年度予算額	平成18年度予算額	増減	科 目	平成19年度予算額	平成18年度予算額	増減	帰属収入比率
学生納付金	4,639	3,852	787	人件費	16,653	15,903	750	41.2%
手数料	212	183	29	教育研究経費	3,620	2,539	1,081	8.9%
寄付金	1,480	1,526	△ 46	医療経費	17,832	17,155	677	44.1%
補助金	1,920	1,908	12	管理経費	1,929	2,289	△ 360	4.8%
資産運用収入	188	159	29	借入金等利息	81	88	△ 7	0.2%
事業収入	747	569	178	資産処分差額	82	20	62	0.2%
医療収入	30,665	29,966	699	徴収不能額	7	23	△ 16	0.0%
雑収入	599	667	△ 68	予備費	100	100	0	0.2%
帰属収入 合計	40,454	38,833	1,621					
基本金組入額	△ 3,577	△11,079	7,502					
消費収入の部 合計	36,877	27,753	9,124	消費支出の部 合計	40,306	38,118	2,188	
				当年度消費支出超過額	△ 3,429	△10,365	6,936	

※ 収支予算書の数字を百万円以下で切捨てて表示

資金収支予算

(単位：百万円)

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	平成19年度予算額	平成18年度予算額	増減	科 目	平成19年度予算額	平成18年度予算額	増減
学生納付金収入	4,639	3,852	787	人件費支出	16,656	15,880	776
手数料収入	212	183	29	教育研究経費支出	2,433	1,672	761
寄付金収入	1,480	1,526	△ 46	医療経費支出	15,825	15,294	531
補助金収入	1,920	1,908	12	管理経費支出	1,860	2,168	△ 308
資産運用収入	188	159	29	借入金等利息支出	81	88	△ 7
資産売却収入	2,000	3,900	△ 1,900	借入金等返済支出	1,496	612	884
事業収入	747	569	178	施設関係支出	995	8,026	△ 7,031
医療収入	30,665	29,966	699	設備関係支出	1,729	2,766	△ 1,037
雑収入	599	667	△ 68	資産運用支出	1,500	3,000	△ 1,500
借入金収入	0	0	0	その他の支出	5,432	3,101	2,331
前受金収入	1,351	671	680	予備費	100	100	0
その他の収入	5,758	3,756	2,002				
資金収入調整勘定	△ 6,673	△ 5,747	△ 926	資金支出調整勘定	△ 5,040	△ 4,499	△ 541
前年度繰越支払資金	4,589	10,524	△ 5,935	次年度繰越支払資金	4,410	3,724	686
収入の部 合計	47,480	51,938	△ 4,458	支出の部 合計	47,480	51,938	△ 4,458

※収支予算書の数字を百万円以下で切捨てて表示

平成18年度収支決算

1. はじめに

平成18年度は、兵庫医療大学設置認可申請年度であり、17年度に引き続き同大学の施設設備面への多額の投資を行った年で、経費面でも相応の支出がありました。

一方で、病院部門では、平成18年4月には過去最大の下げ幅となる診療報酬・介護報酬改定が行われ（診療報酬本体1.36%、薬価・材料価格1.80%、計3.16%、介護報酬は17年10月及び18年4月の2回で2.40%）、機能分化への対応がますます求められるようになりました。

2. 消費収支計算書（表1・2及びグラフ1）

平成18年度は、学生納付金収入については、医学部において学則改正による教育充実費の6年分割負担制度導入により3.6億円の減少となりました。医療収入は、診療報酬マイナス改定がありましたが、本院について外来部門を中心に延患者数が増加、一方、入院部門では平均在院日数の短縮などで、本院、篠山病院、ささやま老人保健施設合わせて10億円の増収でした。

支出面では、教職員の採用大幅増による人件費増、薬品費を中心とする医療経費の大幅増加があり、また、経理規則改正で固定資産の耐用年数を見直す等したため、減価償却額が17年度に比して3.6億円増加し、学校法人の負債とされない収入である帰属収入から消費支出を差し引いた帰属収支差額はマイナス3.7億円でした。

表1 平成18年度消費収支計算書

(単位：千円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	金額	比率 (%)	科目	金額	比率 (%)
学生納付金	3,856,935	10.0%	人件費	16,093,978	41.3%
寄付金	1,482,923	3.8%	教育研究経費	2,711,957	7.0%
補助金	1,819,355	4.7%	医療経費	17,924,389	46.0%
事業収入	751,006	1.9%	管理経費	2,105,855	5.4%
医療収入	29,818,821	77.2%	その他	171,178	0.4%
その他	908,610	2.4%			
帰属収入合計	38,637,650	100.0%	消費支出の部合計	39,007,357	100.0%
基本金組入額合計	△ 7,957,175		帰属収支差額	△ 369,707	
消費収入の部合計	30,680,475		当年度消費収支差額	△ 8,326,882	

グラフ1

平成18年度決算構成比率

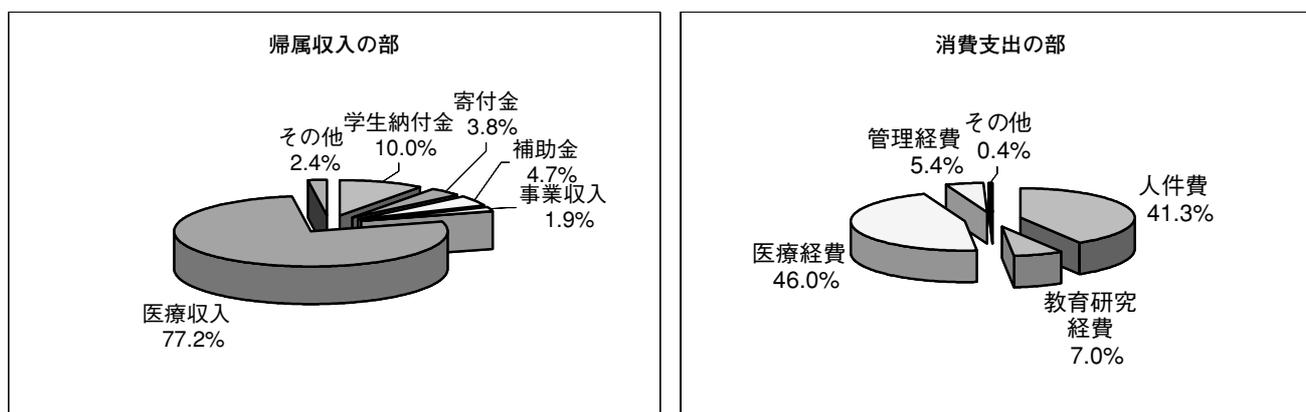


表2

消費収支計算書

平成18年4月1日から
平成19年3月31日まで

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	3,852,150,000	3,856,935,000	△ 4,785,000
手 数 料	183,235,000	207,413,500	△ 24,178,500
寄 付 金	1,526,956,000	1,482,923,507	44,032,493
補 助 金	1,908,389,000	1,819,354,815	89,034,185
資 産 運 用 収 入	159,254,000	252,066,553	△ 92,812,553
事 業 収 入	30,535,791,000	30,569,826,338	△ 34,035,338
事 業 収 入	569,263,000	751,005,603	△ 181,742,603
医 療 収 入	29,966,528,000	29,818,820,735	147,707,265
雑 収 入	667,641,000	449,130,366	218,510,634
帰 属 収 入 合 計	38,833,416,000	38,637,650,079	195,765,921
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 11,079,697,000	△ 7,957,174,749	△ 3,122,522,251
消 費 収 入 の 部 合 計	27,753,719,000	30,680,475,330	△ 2,926,756,330
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	15,903,140,000	16,093,977,791	△ 190,837,791
教 職 員 等 人 件 費	15,262,473,000	15,486,748,351	△ 224,275,351
退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額	559,101,000	544,281,740	14,819,260
退 職 金	81,566,000	62,947,700	18,618,300
教 育 研 究 経 費	2,539,811,000	2,711,957,470	△ 172,146,470
医 療 経 費	17,155,461,000	17,924,388,657	△ 768,927,657
管 理 経 費	2,289,021,000	2,105,855,523	183,165,477
借 入 金 等 利 息	88,378,000	89,427,732	△ 1,049,732
資 産 処 分 差 額	20,000,000	58,442,532	△ 38,442,532
徴 収 不 能 引 当 金 繰 入 額	0	18,093,899	△ 18,093,899
徴 収 不 能 額	23,140,000	5,213,824	17,926,176
[予 備 費]	100,000,000		100,000,000
消 費 支 出 の 部 合 計	38,118,951,000	39,007,357,428	△ 888,406,428
当 年 度 消 費 収 支 差 額	△ 10,365,232,000	△ 8,326,882,098	
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	23,371,385,442	23,371,385,442	
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	33,736,617,442	31,698,267,540	

3. 資金収支計算書(表3)

資金収支計算書について、前年度より繰り越した資金(現金預金)が105億円ありましたが、次年度への繰越資金は設備投資のため59億円減少し、46億円となりました。

表 3

資金収支計算書

平成18年4月1日から
平成19年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	3,852,150,000	3,856,935,000	△	4,785,000
手数料収入	183,235,000	207,413,500	△	24,178,500
寄付金収入	1,526,956,000	1,412,769,638		114,186,362
補助金収入	1,908,389,000	1,819,354,815		89,034,185
資産運用収入	159,254,000	252,066,553	△	92,812,553
資産売却収入	3,900,000,000	3,275,183,993		624,816,007
事業収入	30,535,791,000	30,569,826,338	△	34,035,338
事業収入	569,263,000	751,005,603	△	181,742,603
医療収入	29,966,528,000	29,818,820,735		147,707,265
雑収入	667,641,000	449,130,366		218,510,634
前受金収入	671,700,000	1,340,438,000	△	668,738,000
その他の収入	3,756,869,934	3,037,969,085		718,900,849
資金収入調整勘定	△ 5,747,881,000	△ 5,657,340,614	△	90,540,386
前年度繰越支払資金	10,524,235,094	10,524,235,094		0
収入の部合計	51,938,340,028	51,087,981,768		850,358,260
支出の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	15,880,871,000	16,000,239,251	△	119,368,251
教職員等人件費支出	15,262,473,000	15,486,748,351	△	224,275,351
退職金支出	618,398,000	513,490,900		104,907,100
教育研究経費支出	1,672,861,000	1,820,257,341	△	147,396,341
医療経費支出	15,294,862,000	15,986,628,295	△	691,766,295
管理経費支出	2,168,857,000	2,047,117,815		121,739,185
借入金等利息支出	88,378,000	89,427,732	△	1,049,732
借入金等返済支出	612,280,000	604,480,000		7,800,000
施設関係支出	8,026,002,000	7,828,301,675		197,700,325
設備関係支出	2,766,622,000	2,517,458,338		249,163,662
資産運用支出	3,000,000,000	1,997,650,221		1,002,349,779
その他の支出	3,101,698,776	3,125,420,679	△	23,721,903
[予備費]	100,000,000			100,000,000
資金支出調整勘定	△ 4,499,072,609	△ 5,518,389,928		1,019,317,319
次年度繰越支払資金	3,724,980,861	4,589,390,349	△	864,409,488
支出の部合計	51,938,340,028	51,087,981,768		850,358,260

4. 貸借対照表 (表4)

資産のうち有形固定資産は、兵庫医療大学の建物・構築物関係支出で63億円設備投資をしましたので、17年度末の支出と合わせて70億円が建物関係の増加額です。また、同大学の教育上不可欠なものである教具・校具・備品等も固定資産として扱うものについては増加要因です。資産のストックをあらわすのが貸借対照表ですので、土地、図書を除く資産について減価償却後の正味資産価値(価額)で表しています。流動資産は、3.に記述のとおり現金預金が59億円の減少、有価証券(短期)も13億円減少しました。

負債のうち固定負債は、学債を含む長期借入金の返済を進めていることにより、前年に比して12億円の減少となっています。流動負債は「その他」に入っている薬品費等の未払金の大幅増により41億円の増加で83億円となりました。

基本金は、当年度基本金組入額は80億円で、基本金の部合計額は、808億円となりました。

表4

貸借対照表

平成19年3月31日

(単位：円)

資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
固定資産		57,823,777,645	51,008,651,710	6,815,125,935
有形固定資産		54,543,484,074	47,075,007,470	7,468,476,604
	土地	15,440,174,673	15,242,932,743	197,241,930
	建物・構築物	30,090,101,405	22,977,241,237	7,112,860,168
	教育研究用機器備品	6,828,132,050	6,616,454,430	211,677,620
	図書	1,033,391,904	987,455,592	45,936,312
	建設仮勘定	6,300,000	743,492,705	△ 737,192,705
	その他	1,145,384,042	507,430,763	637,953,279
その他の固定資産		3,280,293,571	3,933,644,240	△ 653,350,669
	教育施設設備等引当特定資産	2,300,069,612	3,000,779,780	△ 700,710,168
	退職給与引当特定資産	400,013,889	400,013,889	0
	その他	580,210,070	532,850,571	47,359,499
流動資産		12,438,820,588	16,742,175,386	△ 4,303,354,798
	現金預金	4,589,390,349	10,524,235,094	△ 5,934,844,745
	有価証券	2,397,621,077	3,675,497,726	△ 1,277,876,649
	その他	5,451,809,162	2,542,442,566	2,909,366,596
資産の部合計		70,262,598,233	67,750,827,096	2,511,771,137
負債の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
固定負債		12,882,404,033	14,100,652,877	△ 1,218,248,844
	長期借入金	5,848,545,000	6,675,075,000	△ 826,530,000
	学校債	1,095,000,000	1,765,000,000	△ 670,000,000
	退職給与引当金	5,750,850,183	5,657,111,643	93,738,540
	長期未払金	188,008,850	3,466,234	184,542,616
流動負債		8,302,913,133	4,203,185,803	4,099,727,330
	短期借入金	834,330,000	585,280,000	249,050,000
	学校債	670,000,000	27,000,000	643,000,000
	前受金	1,340,438,000	576,818,000	763,620,000
	その他	5,458,145,133	3,014,087,803	2,444,057,330
負債の部合計		21,185,317,166	18,303,838,680	2,881,478,486
基本金の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
	第1号基本金	78,137,548,607	70,180,373,858	7,957,174,749
	第4号基本金	2,638,000,000	2,638,000,000	0
基本金の部合計		80,775,548,607	72,818,373,858	7,957,174,749
消費収支差額の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
	翌年度繰越消費支出超過額	31,698,267,540	23,371,385,442	8,326,882,098
消費収支差額の部合計		△ 31,698,267,540	△ 23,371,385,442	△ 8,326,882,098
負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計		70,262,598,233	67,750,827,096	2,511,771,137

注記 徴収不能引当金の合計額 53,016,772円
 基本金未組入額 7,505,786,298円

規程等の制定・改正

項目	制定・改正の趣旨	制定・改正日
1 兵庫医療大学情報倫理規程	兵庫医療大学に設置するネットワーク及びネットワークに接続されている機器を利用する場合に必要な倫理事項を制定	4月1日
2 兵庫医療大学情報ネットワーク運営規程	兵庫医療大学情報ネットワークの運営に必要な事項を制定	
3 兵庫医療大学情報ネットワーク委員会規程	兵庫医療大学情報ネットワークの整備、運営等を審議する委員会について必要な事項を制定	
4 兵庫医療大学情報ネットワーク利用規則	兵庫医療大学情報ネットワークの利用に関する事項を制定	
5 兵庫医療大学防火・防災管理規程	兵庫医療大学における防火・防災管理の徹底を期し被害の防止・軽減を目的として制定	7月1日
6 学校法人兵庫医科大学大学連携協議会規程	兵庫医療大学の開学に伴い主要役職者及びその役割職務が明確になったこと、並びに担当理事の役割の明確化に伴う改正	
7 病院規程	がんセンターの設置に伴う改正	
8 経営企画室設置規程	理事長直轄の組織として設置する経営企画室について制定	7月17日
9 兵庫医科大学科学研究費補助金取扱規程	国が定めた「科学研究費補助金取扱規程」が廃止され、各大学が独自に規程を定めて運用するよう改正されたことに伴い兵庫医科大学として規程を制定	
10 学校法人兵庫医科大学事務組織規程	経営企画室・広報室・知的財産統括室の設置、財務・経理・入試について事務組織を改組、事務分掌を改正	8月1日
11 兵庫医科大学広報委員会規程	兵庫医科大学の広報の方針、重要案件・危機管理案件の基本方針を審議する組織として広報委員会設置に伴う制定	
12 経営企画協議会規程	「経営企画室」が理事会の諮問・調整機関としての責務を果たすため「経営企画協議会」の目的等を改正	9月1日
13 兵庫医療大学講義室等の貸与に関する規程	兵庫医療大学の講義室、オクタホール、レストランの貸与に関する必要な事項を定める。	
14 兵庫医科大学動物実験規程	動物愛護管理法の改正及び動物実験等の実施に関する基本方針の告示に伴い「実験動物の福祉向上」「動物実験の適正化」を盛り込んだ規程を制定 兵庫医科大学動物実験規程を廃止	10月1日
15 兵庫医科大学動物実験委員会規程	兵庫医科大学動物実験規程制定に伴う改正	

(規程等の全文は学内ネットに掲載)

自衛消防訓練<基本訓練>

6号館6-1病棟

6月19日に6号館6-1病棟にて、深夜に火災が起こった設定で訓練を実施しました。職員の的確な判断、迅速な対応と連携で素早く安全に患者を避難誘導できました。



初期消火訓練



担送患者の搬送訓練

9号館4・5階

8月30日午後から、大学にて自衛消防訓練を行いました。はじめに事前講習会として、9-1講義室にて総務課より西宮キャンパスの自衛消防隊に関する説明を行いました。

続いて3時より、9号館4階法医学教室から昼間に火災が発生したことを想定し、通報・初期消火・避難誘導の消防訓練を実施しました。訓練の中でも特に重点を置いたのが、講義室からの教員による学生の避難誘導であり、教職員及び学生約100名が参加し、実際に非常階段を利用し、最終避難場所までの避難をしました。



9号館5階からの非常階段を使っでの避難

訓練終了後、元岡総務部長と鳴尾消防署 岸口氏より、「今回は兵庫医大はじめて以来、初めての大学の訓練でした。いざという時のために、実際に自分の目で避難経路を確認してみることは、意義あることだったと思います。」との講評がありました。

その後、教員は5号館南側芝生広場に移動し、消防署員の指導の下、消火器20本を使用し、取扱い訓練を行いました。(総務課)



消火器使用訓練



敷地内全面禁煙の完全実施に向けて (続報)

7月末に1号館北の喫煙所が閉鎖され、敷地内での分煙場所はなくなりました。

また、敷地内で待機中のタクシーも全て禁煙車となりました。引き続き、敷地内全面禁煙へのご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

(総務課)



全面駐車禁止

1号館と1号館附属棟間の道路について、平成19年9月1日(土)から患者様の一時的な乗降及びタクシーの待機以外は全面的に駐車禁止とし、来院者の車は立体駐車場を利用していただくことになりました。

近年、この道路の両側への駐車が常態化し、人の往来、車両の通行等で事故の危険性が非常に高くなっていました。更に、消防署からは防火防災上、本院が災害拠点病院として機能できるよう駐車状況の改善が指摘されてきました。

また、今回の措置に伴い、立体駐車場における身障者用スペースの運用の見直し、病院までの移動に係る車椅子の介添等により患者様のご不便には対応させていただきます。立体駐車場の収容台数の関係上、平日の午

前中は満車状態となることが頻発していますので、教職員の一時利用の自粛について協力をお願いします。

(総務課)



教職員共済会(西宮)だより

○教職員共済会主催「ビール・パーティー」について

薬理学 長野貴之

教職員共済会懇親会のビール・パーティーが8月21日に5号館南側芝生広場において開催されました。本年はより多くの方に参加していただけるように、料理やドリンクの種類を増やしました。今回の開催にあたり、多大なる協力、支援をくださいました理事長、共済会幹事の方々、人事課の方々、また料理、ドリンクを用意してくださいました宝塚ホテル、リビエールのみなさまに心より感謝いたします。



・ 主要会議とその議題 ・

理事会

(5月28日)

- 人事について
- 理事の選任について
- 評議員の推薦について
- 評議員の選任について
- 名誉教授の称号授与について
- 兵庫医療大学学科長規程の制定について
- 常務会規程の一部改正について
- 常勤理事の業務分担について
- 特命教授設置規程の制定について
- 教務に関する規程の一部改正について
- 聴講生、受託生及び研究生の取扱いに関する規程の一部改正について
- 兵庫医科大学就業規則、就業細則等の一部改正について
- 病院規程の一部改正について
- 平成20年度兵庫医療大学入試要項について
- 関西学院大学と兵庫医科大学との学術交流に関する包括協定締結について
- 平成18年度収支決算について
- 兵庫医科大学学則の一部改正について
- 兵庫医科大学大学院学則の一部改正について
- 平成18年度事業報告書について
- 固定資産の一部処分について

(7月23日)

- 人事について
- 講座の再編について
- クロアチア共和国Rijeka大学医学部との学術交流協定について
- 兵庫医科大学がんセンターの設置について
- 病院規程の一部改正について
- 給与規程の一部改正について
- 2号館2階核医学診療部跡地利用について
- 学校法人兵庫医科大学大学連携協議会規程の一部改正について

評議員会

(5月28日)

- 理事の選任について
- 評議員の選任について
- 兵庫医科大学学則の一部改正について
- 兵庫医科大学大学院学則の一部改正について
- 平成18年度事業報告書について
- 平成18年度収支決算について
- 固定資産の一部処分について

常務会

(5月7日)

- 人事について
 - 学科長の選任について (再付議)
 - 特命教授の設置について
 - 兵庫医科大学大学院担当手当支給内規の制定について
 - 病院規程の一部改正について
 - 兼任教員に関する規程 (案) の制定について
 - 事務組織規程の一部改正について
 - 兵庫医療大学開設時専任教員の赴任に係る手当に関する暫定内規の一部改正について
 - 平成19年度がんプロフェッショナル養成プランについて
 - 関西学院大学との学術交流について
- (5月21日)
- 人事について
 - 兼任教員に関する規程の制定について (再付議)
 - 評議員の選任について
 - 理事の選任について
 - 名誉教授の称号授与について
 - 兵庫医科大学学則の一部改正について
 - 聴講生、受託生及び研究生の取扱いに関する規程の一部改正について
 - 課程を経ない者の学位論文審査等に関する申合せの一部改正について
 - 兵庫医科大学就業規則及び就業細則の一部改正について
 - 平成18年度収支決算について
 - 平成18年度事業報告書について
 - 腫瘍センターの設置について
 - 院内がん登録システムについて
 - 臨床研修医のアルバイトについて
 - 固定資産の一部処分について
 - 常務会規程の一部改正について
 - 常勤理事の業務分担について
- (6月5日)
- 腫瘍センターの組織等について
 - 給与規程の一部改正について
 - 兼任教員に関する規程の制定について (再々付議)
 - 兵庫医科大学防火・防災管理規程の一部改正について
 - 平成19年度夏期賞与について
 - 経営企画室について
 - 常務会メンバーについて
 - 医学・医療教育センター運営委員会規程について
- (6月19日)
- 人事について
 - 講座の再編について
 - 教養部門教員の配置換に伴う平成20年度の教員補充について
 - 平成20年度大学院学生募集要項 (前期・後期募集) に

ついて

- 課程を経ない者の学位論文審査等に関する申合せの一部改正について (再付議)
- クロアチア共和国Rijeka大学医学部との学術交流協定について
- 2号館2階核医学診療部跡地利用について
- 学校法人兵庫医科大学大学連携協議会規程の一部改正について
- 兵庫医療大学情報関連規程の制定について
- 財務システム更新にかかる調査の実施について
- 麻疹・水痘・ムンプス・風疹の抗体検査及びワクチン接種について
- 緩和ケアチームの設置について
(7月3日)
- 総合診療部の人事について (再付議)
- 病院規程の一部改正について
- がんセンター長の設置について
- 科学研究費等の公的資金による間接経費の配分及び使途について
- 手術業務支援システムについて
- 麻疹・水痘・ムンプス・風疹のワクチン接種について (再付議)
- 外科の診療体制について
- 関西学院大学との学術交流に関する包括協定締結について
(7月17日)
- 人事について
- 外国出張について
- 兵庫医科大学学則の一部改正について
- 兵庫医科大学動物実験規程の制定について
- 兵庫医科大学動物実験委員会規程の一部改正について
- 科学研究費補助金取扱規程の制定について
- 先端医学研究所・家族性腫瘍部門及び細胞移植部門の今後について
- 人間ドック等実施検討WGの答申について
- 外科の運営体制 (診療体制) について
- 臨床研修医への懲戒について
- 経営企画協議会規程の一部改正について
- 広報室の設置について
- 広報委員会規程の制定について
- 事務組織の一部変更について
- カプセル内視鏡システムについて
- リアルタイムPCRシステムについて

兵庫医科大学 教授会

(5月10日)

- 教員の人事について
- 名誉教授の称号授与について
- 特命教授設置規程 (案) の制定について

- 教員選考委員会の設置について
- 兵庫医科大学学則の一部改正について (案)
- 非常勤講師に関する規程の一部改正について (案)
- 聴講生、受託生及び研究生の取り扱いに関する規程の一部改正について
- 平成19年度1～4学年次定期試験 (4月～6月期) 日程表 (案) について
- 未修得科目の取り扱いについて
- 平成19年度第6学年次カリキュラムについて
- 平成19年度ミニワークショップについて
- 教育の改善案について
- 平成19年度学生による授業評価について (案)
- 平成18年度学生の選ぶベストティーチャー賞の候補者について
- 平成19年度同僚評価組み合わせについて (案)
- 学生の休学について
- 教員研究費助成の研究成果について
- 平成19年度研究生の入学及び授業料免除について (追加)
- 兵庫医科大学遺伝子治療臨床研究審査委員会委員の委嘱について
- 外国出張について
- 学外出講について
(6月7日)
- 教員の人事について
- 教員選考委員会の設置について
- ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理審査専門小委員会委員の補充について
- 平成19年度第1～第4学年次定期試験 (7月期) 日程表 (案) について
- 医学教育ミニ・ワークショップについて
- 再試験の受験資格について
- 平成15年度未修得科目取り扱い一部変更について (案)
- 学生の退学について
- 兵庫医科大学科学研究費補助金取扱規程 (案) の制定について
- クロアチア共和国Rijeka大学医学部との学術交流に係る協定書の締結について
- 「平成19年度兵庫医科大学シーズ育成型研究プログラム」への配分及び「平成19年度教員研究費助成」配分者の決定について
- 平成19年度研究生の入学について (追加)
- 特別研究員 (B) の受入れについて
- 学外出講について
- 特命教授候補者の決定について
- 「兵庫医科大学動物実験規程」等の改正について (案)
- 基礎系講座の再編について (案)
(7月5日)
- 教員の人事について
- 教員選考委員会の設置について

- 兵庫医科大学学則の一部改正について (案)
 - 兵庫医科大学動物実験規程 (案) の制定について
 - 兵庫医科大学動物実験委員会規程の一部改正について (案)
 - 科学研究費補助金取扱い規程について (案)
 - 平成19年度第1～4学年次定期試験 (9～10月期) 日程表 (案) について
 - 平成19年度総合進級試験 (2年) 実施に関する基本方針 (案) 及び出題の手引き (案) について
 - 平成19年度総合進級試験 (5年) について
 - 再試験受験資格及び授業欠席の取扱いについて
 - 平成20年度授業科目 (案) について
 - 学生の懲戒の取扱いについて
 - 学生相談室規程の一部改正について (案)
 - 平成19年度研究生の入学及び授業料免除について (追加)
 - 学外出講について
 - 外国出張について
 - 平成20年度学生募集要項について
 - 新入試制度 (推薦入試) の基本方針について (案)
 - 先端医学研究所・家族性腫瘍部門及び細胞移植部門の今後について (9月6日)
 - 教員の人事について
 - 教員選考委員会の設置について
 - 委員会委員の改選について (教育研究組織計画委員会、廃液処理委員会)
 - 兵庫医科大学倫理委員会委員の委嘱について
 - 遺伝子組換え実験安全委員会委員の委嘱について (案)
 - 競争的資金に係る物品調達等の検収体制について
 - 任期制教員の再任に係る審査方法について (案)
 - 総合進級試験 (5年) について
 - 授業欠席に関する取扱いについて
 - 外科学講座准教授候補者 (乳腺・内分泌担当) について
 - 特別研究員の受入れについて
 - 平成19年度研究生の入学について (追加)
 - 学外出講について
 - クロアチア共和国出張中の学長代行について
 - 平成20年度第3学年次基礎配について
- 兵庫医療大学 大学協議会**
(5月14日)
- 平成20年度学生募集活動について
 - 情報ネットワークに係る規程の制定について
 - 危機管理体制について
 - 会議の開催要領について
 - 学生アンケートについて (5月30日)
- 兵庫医療大学FD委員会規程 (案) について
 - 入学前の既習得単位の認定に係る基本方針について
 - 学生生活に関する意思決定体制
 - ・感染病緊急対応について
 - ・学籍異動
 - 大学連携協議会の立ち上げについて
 - ECEにおける病院施設見学について
 - 6月9日公開講座「健康を考える」について (6月14日)
 - 医学・医療教育センター運営委員会本学側委員について
 - 教員のワクチンの接種について
 - 助手 (助教) の採用について
 - 生薬標本の陳列について
 - 看護学部北欧研修について (6月25日)
 - 単位認定試験の実施及び成績表の提出に係る申し合わせについて
 - 予算委員会の立ち上げについて
 - 兵庫医療大学医薬共同先端医療研究センター開設準備委員会について (7月9日)
 - 防火・防災管理規程 (案) 及び消防計画について
 - 環境安全委員会及び関係組織の立ち上げについて
 - 単位認定試験の実施について
 - 学外実習に係る個人情報の保護に関する誓約書の提出について
 - 医学共同創薬研究開発センター及び食堂厨房の工事計画について
 - 施設の貸与に係る使用料の徴収について
 - 図書館の開放時間及び開館日について (7月23日)
 - 休学、退学の取り扱いについて
 - 平成20年度入学式の日程について
 - 兵庫医療大学広報委員会規程の制定について
 - 地域連携推進委員会規程の制定について
 - 神戸中央市民病院との連携について
 - 図書館の土曜日開館について
 - 花火大会への対応について (8月6日)
 - 早期臨床体験実習の実施結果及び反省点等について
 - 第2回オープンキャンパスの実施について
 - 「大学コンソーシアムひょうご神戸」加入について
 - チュートリアル教育について
 - 臨床薬学研修センターの整備について (9月19日)
 - 平成19年度設置計画履行状況調査「実地調査」の対応について
 - 教員研修について
 - 共通教育センター所属の非常勤講師の委嘱について

- 兵庫医療大学自己点検・評価規程及び委員会規程について
- 地域連携実践センター「第1回公開講座」の開催及び「地域連携ニュース」の発行について
- チーム医療に関するアンケートについて
- 保健管理センター運営に関する問題点について
- 学生に関するセクハラ等の対応について
- 平成20年度ワクチン接種・健康診断の実施について
- 体育館建設に係るワーキンググループの設置について
- 大学祭について
- 兵庫医療大学遺伝子組換え実験安全管理規程について
- 毒物及び劇物の管理マニュアルについて
- 兵庫医療大学科学研究費補助金取扱規程について
- 平成20年度入試業務日程について
- 学生募集活動「高校訪問」について
- 兵庫医科大学・兵庫医療大学教育連携について

・お・知・ら・せ・

〔 新大学のための募金の状況報告 〕

「兵庫医療大学」のための募金活動を平成18年5月に開始して以来、これまでに教職員をはじめ、後援会（ご父兄）、緑樹会（卒業生）、名誉教授、退職者等（594名）は言うに及ばず協力医療機関や関連病院等を始めとする幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、誠に有り難く、厚くお礼申し上げます。

本学校法人といたしましては、ご協力賜りました方々のご芳名を大学広報に掲載させていただき、感謝の意を表したいと存じ、下記のとおり報告させていただきます。

本学法人は、皆様からご寄付いただきました寄付金をこの新大学の教育研究用施設整備等充実に利用させていただくとともに、これからも全力で大学の合理化推進等により、必要資金確保に向けて自主的努力を重ねてまいります。加えて、ぜひとも関係各方面からのさらなるご支援を仰ぎお力添えをいただきたく、引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（募金推進室）

記

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
申 込	245件	417,214,000円	594件	123,060,000円	839件	540,274,000円
入 金	230件	397,914,000円	556件	120,540,000円	786件	518,454,000円

（平成18年5月2日～平成19年8月31日）

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

19.4.1～19.8.31

[企業等法人] (61法人)

- 90,000,000円 株式会社 エイチ・アイ様
- 80,000,000円 日本製薬団体連合会様
- 5,000,000円 株式会社 紀伊國屋書店様
- 1,500,000円 株式会社 日本ビジネスデータプロセッシングセンター様
- 1,000,000円 尼崎信用金庫様
- 夙川土地 株式会社様
- 株式会社 光洋様
- 500,000円 株式会社 木村技研様
- 300,000円 三菱ビルテクノサービス 株式会社 関西支社西宮支店様
- 200,000円 株式会社 武庫川フードセンター様
- 有限会社 グリルグラン様
- 100,000円 石橋建設 株式会社様
- 株式会社 WAVE様
- 50,000円 日本カルミック 株式会社様
- 30,000円 株式会社 鈴木忠商店様

(ご芳名のみ記載)

阪神エンジニアリング 株式会社様	株式会社 日興商会様
株式会社 やよい様	富士ゼロックス兵庫 株式会社様
丸玉給食 株式会社様	有限会社 宝塚新樹園様
株式会社 朝日工業社様	株式会社 大阪山田 守建築事務所様
株式会社 公益社様	武庫川医療サービス 株式会社様
小山 株式会社様	株式会社 グルメ杵屋様
NTTファイナンス 株式会社様	ホーチキ 株式会社 神戸支社様
八洲薬品 株式会社様	ヤンマーエネルギーシステム 株式会社様
株式会社 アーガスサイエンス様	阪神タクシー 株式会社様
株式会社 アベックス様	株式会社 トプコンメディカルジャパン様
ベリクラークベリアーキテクトツジャパン 株式会社様	株式会社 損害保険ジャパン様
近畿コカ・コーラボトリング 株式会社様	三井住友海上火災保険 株式会社様
大日本土木 株式会社 神戸営業所様	株式会社 学生情報センター様
株式会社 山武 ビルシステムカンパニー関西支社様	有限会社 シミツ様
株式会社 トーカイ様	有限会社 三栄電気様
六甲摩耶鉄道 株式会社様	三洋電機サービス 株式会社様
暁飯島工業 株式会社様	株式会社 フジマック 近畿事業部様
株式会社 アイソテック様	アソート 株式会社様
有限会社 大栄衛生様	株式会社 阪急百貨店様
株式会社 伊藤園様	株式会社 伸晃商事様
川本産業 株式会社様	匿名 5 法人

[関連病院等] (24法人)

700,000円 医療法人社団平生会 宮本クリニック様
 500,000円 医療法人ほまれ(誉)会(財団)様
 社団法人日本海員掖済会 神戸掖済会病院様
 300,000円 医療法人純幸会様
 医療法人讃和会 友愛会病院様
 医療法人朗源会 大隈病院様

(ご芳名のみ記載)

医療法人翠生会 松本病院様	医療法人互惠会 池田回生病院様
医療法人仁風会 牧野病院様	医療法人社団汐咲会 井野病院様
医療法人社団敬誠会 合志病院様	医療法人伯鳳会 赤穂中央病院様
医療法人 明和病院様	財団法人甲南病院 甲南病院様
医療法人社団仁恵会 石井病院様	財団法人甲南病院 六甲アイランド病院様
医療法人社団甲友会 有馬温泉病院様	医療法人中屋覚志会 津田病院様
特定医療法人景岳会 南大阪病院様	医療法人 森内科様
医療法人晋真会 ベリタス病院様	匿名 2 法人
医療法人社団 のぞみ耳鼻咽喉科様	

[後援会](1団体、7名)

50,000円
 30,000,000円 長谷川 誠様
 兵庫医科大学 (ご芳名のみ記載)
 後援会様 白川 勝 様
 300,000円 本多 泰典様
 宮本 孝 様 橋爪 勇 様
 300,000円 匿名 1 名
 原 勝 様

[緑樹会](5名)

200,000円
 細見 基信様
 50,000円
 二宮 浩司様
 (ご芳名のみ記載)
 黒田 佳治様
 井口 優子様

匿名 1 名

100,000円
 [その他個人](1名)
 100,000円
 広沢 正好様
 [名誉教授](6名)
 150,000円
 窪田 彬 様

100,000円

高光 義博様
 (ご芳名のみ記載)
 三浦 貴士様
 松永 一郎様
 圓尾 宗司様
 喜多野征夫様

[退職者](8名)	10,000円	(ご芳名のみ記載)	榎田 順治様	濱村 榮年様
300,000円	野口 フク様	亀田 和子様	中村 文子様	
角田 英夫様		田邊 節子様	田中可鶴江様	
[教職員](102名)				
1,000,000円	山口 勲 様	30,000円	大和田健夫様	迫口 孝文様
	安藤久美子様	宮内 勝子様	川口浩太郎様	濱政 明宏様
山村 武平様	甲谷 繁 様	塚本 効司様	日高 正巳様	日野 隆夫様
500,000円	小関 真紀様	岩岡恵実子様	水野 暢子様	坂口美恵子様
	内藤 泰 様	飯尾 祐加様	加藤 和隆様	世良 明代様
佐藤 禮子様	赤井 一之様	20,000円	橋本 幸哉様	岩下 実華様
250,000円	春木 敏弘様	小寺 斉人様	久山 秀隆様	鍋島 直美様
	北江 正幸様	寺田 英司様	井出 唯敬様	松田 友美様
小川 啓恭様	佐藤 浩治様	重村一二美様	田路 勝 様	武田 忍 様
長谷川誠紀様	安政 勝己様	梅原 孝好様	田中 京美様	高岡 洋子様
青木 俊二様	寺西 敏美様	10,000円	西村 明子様	畑 多美子様
鈴木 久美様	立花 敬三様	川上 健太様	阪永 諭 様	手塚 直美様
藤井眞理子様	川端 正明様	山口早百合様	小谷 穰治様	笹岡 幸代様
前田 初男様	下村 壯治様	新田 恵子様	栞原 佐知様	廿日出美恵子様
田中 稔之様	岸本 裕充様	西尾健太郎様	佐藤江利子様	門屋 礼子様
120,000円	高木 範子様	(ご芳名のみ記載)	是金 敦子様	境 潤哉様
	50,000円	西原 力 様	八木 正人様	毛利ひろこ様
上紺屋憲彦様	久保 博嗣様	土居 洋子様	嵯峨 洋子様	柿本ひろみ様
芝崎 誠司様	錦織 典子様	田中 明人様	安井小由里様	匿名 15名
伊藤 斉子様	加藤 雅己様	坂本 清 様	村上 稔 様	(順不同)
山本 新吾様				
70,000円				
太田 邦廣様				

— 訃 報 —

兵庫医科大学前学長で名誉教授の東野一彌先生におかれましては、かねてから病氣療養中のところ、平成19年8月3日御逝去されました。

告別式が、8月5日大阪市内の臨南寺会館紫雲殿にて執り行われ、大学葬が10月27日(土)午後2時から平成記念会館において執り行われました。

(大学葬の詳細は191号で掲載)

— おわびと訂正 —

広報第189号において誤り・不備がありましたので、おわびして訂正いたします。

9ページ 教授就任

(誤) 笹子 三津留 特命教授 4月1日就任
(国立がんセンター中央病院 副院長)

(正) 笹子 三津留 特命教授 7月1日就任
(国立がんセンター中央病院 副院長)

29ページ 寄付申込者ご芳名・法人名一覧

(誤) 有限会社 宝塚新樹園

(正) 有限会社 宝塚新樹園様

体重1000g 仮死状態で誕生 兵庫医大病院

兵庫医大病院で3月、四つ子の赤ちゃんが誕生した。いずれも仮死状態で、中でも女の子は脳出血で危険な状態に陥ったが、病院側は新生児集中治療室（NICU）を四つ子専用として準備し、治療を急ぐことで危機を免れた。この間、3か月余り、同病院のNICUに代わって、県内5病院が切迫早産などの妊婦を受け入れる支援体制を敷いたという。妊婦の病院搬送拒否が問題化する中、医療機関が連携して守った奇蹟の命。元気に育つわが子を抱きながら、母親は「各地で病院の連携を進め、すべての妊婦が安心して産み育てられる体制を作りたい」と願う。

元気に育つ四つ子（左から真幸ちゃん、竜幸ちゃん、空幸ちゃん、祐幸ちゃん）を笑顔で見つめる母親の角美千代さん（8日午後、兵庫西宮市で）＝吉野拓也撮影



6病院連携 四つ子救った

集中治療室、専用に 他の妊婦、近隣施設へ

西宮市在住の角美千代さん（34）と、夫の定明さん（44）の間に生まれた真幸ちゃん、竜幸ちゃん、空幸ちゃん、祐幸ちゃん。真千代さんは6年前に長女を出産したが、その後、後子室に恵まれず、別の病院で不妊治療を受け、2006年秋、四つ子を身ごもった。多胎胎盤のため、出産時などに高度医療を施す「地域周産期母子医療センター」でも多くある兵庫医大病院を紹介された。

同病院は万全を期すため、当時6床のNICUを四つ子専用として出産に備えるなどの求めがあった場合、午後11時以降に生まれた四つ子を受け入れ、近隣病院に協力をお願いした。県立塚口病院（西宮市）や県立こども病院（神戸市）、神戸大附属病院（同）は胎動が弱く、脳出血が止まらなかつたため、保育器のほかに人工呼吸器も使った。兵庫医大病院は今年が人工呼吸器も使った

多胎児 1980年代以降、不妊治療に伴う排卵誘発剤の影響で多胎が増加したが、母体への負担が大きいうえ、死産になるリスクも高いとされ、減少傾向に転じた。厚生労働省のデータによれば、四つ子の出生は95年、全国で24件を数えたが、2003年は14件、04年5件、05年3件と減っている。

看護が続き、1か月ほどで全員、健康状態は良好となり、7月末、無事退院した。

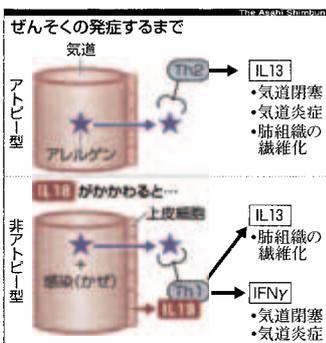
2月から4人がNICUを出た5月上旬の間、同医大病院に代わって他の病院が受け入れた妊婦は20人余り。その多くを診察した県立塚口病院の浜西正三副院長は「近隣同士、協力し合わなければ回っていかないのが実情」と語る。兵庫医大病院の皆川京子NICU医長も「医師不足が深刻なだけに病院間連携が大切と痛感」と話す。

「幸福を運ぶ四つ葉のクローバー」をテーマに4人の名に「幸」の文字を使ったという真千代さんは「素直な心で妊婦が病院に搬送を断られた問題に心を痛め、私は幸運だったと思う。失われた命もある社会全体での問題と向き合ってほしい」。

大阪府立母子保健総合医療センターの末原幸副院長は「長岡産科医会」の話も聞き、胎盤に死産のリスクも大きい。万全の体制で臨むことが望ましい。今回のケースが主眼となる。医療機関のネットワークが奏功した好例だ。

〈平成19年9月9日(日)読売新聞(朝刊)〉

ぜんそく「誘因、免疫物質 特定



大人に多い「非アトピー型」

質を、兵庫医大病院免疫学・動物物学教室の林伸樹講師、中西憲司教授らのグループがマウスの実験で特定した。ヒトにも同じメカニズムが確認された。

兵庫医科大、治療薬の開発に光

ズムが確認できれば、治療薬の開発につながる。今週、米科学アカデミー紀要誌に発表された。この免疫物質は、体外から侵入した細菌やウイルスに反応し、気道上皮細胞などから出るインターロイキン18（IL18）。林講師らは、DNAなどのアレルゲンが、IL13を出し、IL13がIL18を誘発し、IL18がIL13を誘発する。IL13を標的にした吸入ステロイド薬は非アトピー型ぜんそくにも効かないことがあつた。大分大学医学系研究科の川瀬一郎教授（呼吸器・免疫学）は「アレルギー学」は「IL18を抑制する治療薬が非アトピー型ぜんそくに対する画期的な治療法となる可能性が考えられる」と話している。

〈平成19年8月28日(日)朝日新聞(夕刊)〉

兵庫医科大学広報 第190号

編集発行：学校法人 兵庫医科大学

広報室 広報課

〒663-8501

西宮市武庫川町1番1号

TEL：0798-45-6655

FAX：0798-48-6261